(19)日本国特許庁(JP)　(12)公開特許公報(A)　(11)特許出願公開番号
特開2009-6111
(P2009-6111A)
(43)公開日　平成21年1月15日(2009.1.15)

(51)Int.Cl.		F I			テーマコード（参考）
A63F 5/04 (2006.01)		A63F	5/04	512Z	2C082
		A63F	5/04	511Z	

審査請求 未請求　請求項の数 11　ＯＬ　（全 35 頁）

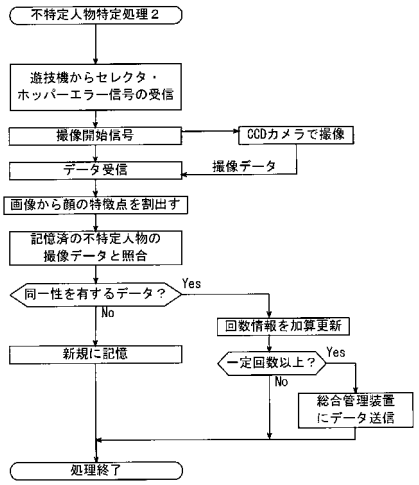
(21)出願番号　特願2007-240274 (P2007-240274)
(22)出願日　平成19年9月14日 (2007.9.14)
(31)優先権主張番号　特願2007-146303 (P2007-146303)
(32)優先日　平成19年5月31日 (2007.5.31)
(33)優先権主張国　日本国 (JP)

(71)出願人　501005966
大都販売株式会社
東京都台東区東上野１丁目１番１４号
(74)代理人　100075410
弁理士　藤沢　則昭
(74)代理人　100064311
弁理士　藤沢　正則
(74)代理人　100135541
弁理士　藤沢　昭太郎
(72)発明者　木原海龍
東京都台東区東上野１丁目１番１４号　大都販売株式会社内
(72)発明者　小林祐介
東京都台東区東上野１丁目１番１４号　大都販売株式会社内

最終頁に続く

(54)【発明の名称】遊技場管理システム

(57)【要約】
【課題】不特定人物のデータを複数の遊技場で共有することで、不正行為の防止を効果的に行うシステムを提供する。
【解決手段】遊技機は作動中の異常に関する異常信号を送信し、当該異常信号を受信した管理装置はCCDカメラに撮像開始を指示するとともに、CCDカメラから不特定人物の撮像データを受信し、当該不特定人物の撮像データを記憶済みの不特定人物の撮像データと照合し、いずれとも一致しなければ当該不特定人物の撮像データを記憶部に新規に記憶し、一致したデータがあればそのデータに関連付けた累積一致回数を記憶し、この累積一致回数が所定以上となった場合には、総合管理装置に当該不特定人物の撮像データを送信し、総合管理装置は、当該不特定人物の撮像データをネットワークで接続された他の複数の遊技場に対して配信する構成とした。
【選択図】図６



【特許請求の範囲】
【請求項１】
不特定人物の撮像データを他の遊技場に配信して共有するための遊技場管理システムであって、
少なくとも１つの遊技場には、
作動中の異常を検出し当該異常信号を送信する送信手段を備える複数の遊技機と、当該複数の遊技機に対応して配置し、前記異常信号を送信した遊技機遊技機の周囲の不特定人物を撮像して、当該不特定人物の撮像データを送信する少なくとも１つの撮像手段とを設け、
前記少なくとも１つの遊技場を含む複数の遊技場のいずれか、又は前記複数の遊技場を統轄する管理センターには、
前記少なくとも１つの遊技場の撮像手段から受信した当該不特定人物の撮像データを、当該不特定人物の撮像データを送信した遊技場以外の他の遊技場に、配信する不特定人物撮像データ配信手段を、
設けたことを特徴とする、遊技場管理システム。
【請求項２】
不特定人物の撮像データを他の遊技場に配信して共有するための遊技場管理システムであって、
少なくとも1つの遊技場には、
作動中の異常を検出し当該異常信号を送信する送信手段を備える複数の遊技機と、当該複数の遊技機に対応して配置し、撮像の開始を指示する撮像開始信号を受信すると、前記異常信号を送信した遊技機の周囲の不特定人物を撮像して、当該不特定人物の撮像データを送信する少なくとも1つの撮像手段とを設け、
前記少なくとも１つの遊技場を含む複数の遊技場のいずれか、又は前記複数の遊技場を統轄する管理センターには、
前記少なくとも１つの遊技場の前記異常信号を受信すると、当該異常信号を送信した前記遊技機に対応する前記撮像手段に対して前記撮像開始信号を送信する撮像開始信号送信手段と、
前記少なくとも１つの遊技場の撮像手段から受信した前記不特定人物の撮像データを、当該不特定人物の撮像データを送信した遊技場以外の他の遊技場に、配信する不特定人物撮像データ配信手段とを、
設けたことを特徴とする、遊技場管理システム。
【請求項３】
不特定人物の撮像データを他の遊技場に配信して共有するための遊技場管理システムであって、
少なくとも1つの遊技場には、
作動中の異常を検出し当該異常信号を送信する送信手段を備える複数の遊技機と、当該複数の遊技機に対応して配置し、撮像の開始を指示する撮像開始信号を受信すると、前記異常信号を送信した遊技機の周囲の不特定人物を撮像して、当該不特定人物の撮像データを送信する少なくとも1つの撮像手段とを設け、
前記少なくとも1つの遊技場を含む複数の遊技場、又は前記複数の遊技場のいずれかとこれら前記複数の遊技場を統轄する管理センターに、
前記少なくとも1つの遊技場の前記異常信号を受信すると、当該異常信号を送信した前記遊技機に対応する前記撮像手段に対して前記撮像開始信号を送信する撮像開始信号送信手段と、
前記少なくとも1つの遊技場の前記撮像手段から受信した前記不特定人物の撮像データを、当該不特定人物の撮像データを送信した遊技場以外の他の遊技場に、配信する不特定人物撮像データ配信手段とを、
分散させて設けたことを特徴とする、遊技場管理システム。
【請求項４】

不特定人物の撮像データを他の遊技場に配信して共有するための遊技場管理システムであって、
少なくとも1つの遊技場には、
作動中の異常を検出し当該異常信号を送信する送信手段を備える複数の遊技機と、当該複数の遊技機に対応して配置し、撮像の開始を指示する撮像開始信号を受信すると、前記異常信号を送信した遊技機の周囲の不特定人物を撮像して、当該不特定人物の撮像データを送信する少なくとも1つの撮像手段とを設け、
前記少なくとも1つの遊技場を含む前記複数の遊技場のいずれか、又はこれら前記複数の遊技場を統轄する管理センターには、
前記少なくとも1つの遊技場の前記異常信号を受信すると、当該異常信号を送信した前記遊技機に対応する前記撮像手段に対して前記撮像開始信号を送信する撮像開始信号送信手段と、
前記少なくとも1つの遊技場の撮像撮像手段から送信された前記不特定人物の撮像データを記憶するための不特定人物撮像データ記憶手段と、
前記撮像手段から送信された前記不特定人物の撮像データを、それまでに前記不特定人物撮像データ記憶手段に記憶した不特定人物の撮像データと照合し、前記不特定人物と一致する不特定人物の撮像データが存在するか否かを判定する不特定人物撮像データ判定手段と、
前記不特定人物と一致する不特定人物の撮像データが存在する場合に、当該一致する不特定人物の撮像データに関連付けて、今回一致した分を含む累積一致回数を記憶する一致回数記憶手段と、
前記不特定人物と一致する不特定人物の撮像データが存在しない場合に、前記撮像手段から送信された前記不特定人物の撮像データを前記不特定人物撮像データ記憶手段に新たに記憶する不特定人物撮像データ更新手段と、
前記累積一致回数が所定回数となった時に、前記不特定人物の撮像データを送信した遊技場以外の他の遊技場に、当該不特定人物の撮像データを配信する不特定人物撮像データ配信手段とを、
設けたことを特徴とする、遊技場管理システム。
【請求項５】
不特定人物の撮像データを他の遊技場に配信して共有するための遊技場管理システムであって、
少なくとも1つの遊技場には、
作動中の異常を検出し当該異常信号を送信する送信手段を備える複数の遊技機と、当該複数の遊技機に対応して配置し、撮像の開始を指示する撮像開始信号を受信すると、前記異常信号を送信した遊技機の周囲の不特定人物を撮像して、当該不特定人物の撮像データを送信する少なくとも1つの撮像手段とを設け、
前記少なくとも1つの遊技場を含む前記複数の遊技場、又は前期複数の遊技場のいずれかとこれら前記複数の遊技場を統轄する管理センターに、
前記少なくとも1つの遊技場の前記異常信号を受信すると、当該異常信号を送信した前記遊技機に対応する前記撮像手段に対して前記撮像開始信号を送信する撮像開始信号送信手段と、
前記少なくとも1つの遊技場の撮像手段から送信された前記不特定人物の撮像データを記憶するための不特定人物撮像データ記憶手段と、
前記撮像手段から送信された前記不特定人物の撮像データを、それまでに前記不特定人物撮像データ記憶手段に記憶した不特定人物の撮像データと照合し、前記不特定人物と一致する不特定人物の撮像データが存在するか否かを判定する不特定人物撮像データ判定手段と、
前記不特定人物と一致する不特定人物の撮像データが存在する場合に、当該一致する不特定人物の撮像データに関連付けて、今回一致した分を含む累積一致回数を記憶する一致回数記憶手段と、

前記不特定人物と一致する不特定人物の撮像データが存在しない場合に、前記撮像手段から送信された前記不特定人物の撮像データを前記不特定人物撮像データ記憶手段に新たに記憶する不特定人物撮像データ更新手段と、
前記累積一致回数が所定回数となった時に、前記不特定人物の撮像データを送信した遊技場以外の他の遊技場に対して、当該不特定人物の撮像データを配信する不特定人物撮像データ配信手段とを、
分散させて設けたことを特徴とする、遊技場管理システム。
【請求項６】
不特定人物の撮像データを他の遊技場に配信して共有するための遊技場管理システムであって、
少なくとも１つの遊技場には、
作動中の異常を検出し当該異常信号を送信する送信手段を備える複数の遊技機と、当該複数の遊技機に対応して配置し、前記異常信号を送信した遊技機の周囲の不特定人物を撮像して、当該不特定人物の撮像データを送信する少なくとも１つの撮像手段を設け、
前記少なくとも１つの遊技場を含む前記複数の遊技場のいずれか、又はこれら前記複数の遊技場を統轄する管理センターには、
前記少なくとも１つの遊技場の前記撮像手段から前記不特定人物の撮像データを受信して記憶する一次記憶手段と、
前記異常信号を受信すると、前記一次記憶手段から前記不特定人物の撮像データを取得する取得手段と、
当該取得手段により取得した不特定人物の撮像データを記憶するとともに送信する二次記憶手段と、
前記二次記憶手段から受信した前記不特定人物の撮像データを、当該不特定人物の撮像データを送信した遊技場以外の他の遊技場に、配信する不特定人物撮像データ配信手段とを、
設けたことを特徴とする、遊技場管理システム。
【請求項７】
不特定人物の撮像データを他の遊技場に配信して共有するための遊技場管理システムであって、
少なくとも１つの遊技場には、
作動中の異常を検出し当該異常信号を送信する送信手段を備える複数の遊技機と、当該複数の遊技機に対応して配置し、前記異常信号を送信した遊技機の周囲の不特定人物を撮像して、当該不特定人物の撮像データを送信する少なくとも１つの撮像手段とを設け、
前記少なくとも１つの遊技場を含む前記複数の遊技場、又は前記複数の遊技場のいずれかとこれら前記複数の遊技場を統轄する管理センターに、
前記少なくとも１つの遊技場の前記撮像手段から前記不特定人物の撮像データを受信して記憶する一次記憶手段と、
前記少なくとも１つの遊技場の前記異常信号を受信すると、前記一次記憶手段から前記不特定人物の撮像データを取得する取得手段と、
当該取得手段により取得した不特定人物の撮像データを記憶するとともに送信する二次記憶手段と、
前記二次記憶手段から受信した前記不特定人物の撮像データを、当該不特定人物の撮像データを送信した遊技場以外の他の遊技場に配信する不特定人物撮像データ配信手段とを、
分散させて設けたことを特徴とする、遊技場管理システム。
【請求項８】
不特定人物の撮像データを他の遊技場に配信して共有するための遊技場管理システムであって、
少なくとも１つの遊技場には、
作動中の異常を検出し当該異常信号を送信する送信手段を備える複数の遊技機と、当該複数の遊技機に対応して配置し、前記異常信号を送信した遊技機の周囲の不特定人物を撮像

して、当該不特定人物の撮像データを送信する少なくとも１つの撮像手段とを設け、
前記少なくとも１つの遊技場を含む前記複数の遊技場のいずれか、又はこれら前記複数の遊技場を統轄する管理センターには、
前記少なくとも１つの遊技場の前記撮像手段から前記不特定人物の撮像データを受信して記憶する一次記憶手段と、
前記少なくとも１つの遊技場の前記異常信号を受信すると、前記一次記憶手段から前記不特定人物の撮像データを取得する取得手段と、
当該取得手段により取得した不特定人物の撮像データを記憶するとともに送信する二次記憶手段と、
前記不特定人物の撮像データを記憶するための不特定人物撮像データ記憶手段と、
前記不特定人物の撮像データを前記二次記憶手段から受信し、当該不特定人物の撮像データから顔部分を検出し、検出した顔部分の撮像データとそれまでに前記不特定人物撮像データ記憶手段に記憶した不特定人物の撮像データとを照合し、前記不特定人物と一致する不特定人物の撮像データが存在するか否かを判定する不特定人物撮像データ判定手段と、
前記不特定人物と一致する不特定人物の撮像データが存在する場合に、当該一致する不特定人物の撮像データに関連付けて、今回一致した分を含む累積一致回数を記憶する一致回数記憶手段と、
前記不特定人物と一致する不特定人物の撮像データが存在しない場合に、前記二次記憶手段から送信された前記不特定人物の撮像データを前記不特定人物撮像データ記憶手段に新たに記憶する不特定人物撮像データ更新手段と、
前記累積一致回数が所定回数となった場合に、前記不特定人物の撮像データを送信した遊技場以外の他の遊技場に、当該不特定人物の撮像データを配信する不特定人物撮像データ配信手段とを、
設けたことを特徴とする、遊技場管理システム。
【請求項９】
不特定人物の撮像データを他の遊技場に配信して共有するための遊技場管理システムであって、
少なくとも１つの遊技場には、
作動中の異常を検出し当該異常信号を送信する送信手段を備える複数の遊技機と、当該複数の遊技機に対応して配置し、前記異常信号を送信した遊技機の周囲の不特定人物を撮像して、当該不特定人物の撮像データを送信する少なくとも１つの撮像手段とを設け、
少なくとも１つの遊技場を含む前記複数の遊技場、又は前記複数の遊技場のいずれかとこれら前記複数の遊技場を統轄する管理センターに、
前記少なくとも1つの遊技場の前記撮像手段から前記不特定人物の撮像データを受信して記憶する一次記憶手段と、
前記少なくとも1つの遊技場の前記異常信号を受信すると、前記一次記憶手段から前記不特定人物の撮像データを取得する取得手段と、
当該取得手段により取得した不特定人物の撮像データを記憶するとともに送信する二次記憶手段と、
前記不特定人物の撮像データを記憶するための不特定人物撮像データ記憶手段と、
前記不特定人物の撮像データを前記二次記憶手段から受信し、当該不特定人物の撮像データから顔部分を検出し、検出した顔部分の撮像データとそれまでに前記不特定人物撮像データ記憶手段に記憶した不特定人物の撮像データとを照合し、前記不特定人物と一致する不特定人物の撮像データが存在するか否かを判定する不特定人物撮像データ判定手段と、
前記不特定人物と一致する不特定人物の撮像データが存在する場合に、当該一致する不特定人物の撮像データに関連付けて、今回一致した分を含む累積一致回数を記憶する一致回数記憶手段と、
前記不特定人物と一致する不特定人物の撮像データが存在しない場合に、前記二次記憶手

段から送信された前記不特定人物の撮像データを前記不特定人物撮像データ記憶手段に新たに記憶する不特定人物撮像データ更新手段と、
前記累積一致回数が所定回数となった場合に、前記不特定人物の撮像データを送信した遊技場以外の他の遊技場に、当該不特定人物の撮像データを配信する不特定人物撮像データ配信手段とを、
分散させて設けたことを特徴とする、遊技場管理システム。
【請求項１０】
前記取得手段は、前記一次記憶手段に記憶している前記不特定人物の撮像データのうち、所定時間分の前記不特定人物の撮像データを取得することを特徴とする、請求項６～９のいずれかに記載の遊技場管理システム。
【請求項１１】
前記異常信号は、前記遊技機のセレクタ部の異常を示すセレクタエラー信号又は前記遊技機のホッパー部の異常を示すホッパーエラー信号であることを特徴とする、請求項1～１０のいずれかに記載の遊技場管理システム。

【発明の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
本発明は、各遊技場における不特定人物のデータを複数の遊技場で共有することを可能にする遊技場管理システムに関する。
【背景技術】
【０００２】
従来、遊技機に投入した遊技媒体を計数したり、遊技機から払い出される遊技媒体の数を計数したりするものについては、特許文献１に示す技術が知られている。これは遊技機の遊技媒体投入口から連続して設けられるセレクタと、遊技媒体の払出口とに夫々センサを設けて、遊技媒体の通過を検知して夫々信号を出力すると共に、遊技機からＢＥＴ枚数に関する信号と、入賞払出し枚数に関する信号を取り出し、これら複数の信号を制御手段に入力し、この制御手段を介して遊技機から払い出された遊技媒体の枚数と遊技機に蓄積されている遊技媒体の枚数を管理することにより、いわゆるセレクタゴトと呼ばれる不正行為やいわゆるホッパーゴトと呼ばれる不正行為を防止するものである。
【０００３】
また、従来遊技機の扉の開放を不正に行った者をＣＣＤカメラで撮像し、撮像によって得られた画像データを遊技場の管理装置に送信するという、特許文献２に示す技術が知られている。これは、遊技機の扉の開放を検知すると、撮像指令信号が出力され、遊技機の遊技盤の近傍に設けたＣＣＤカメラが、遊技機前方を撮像し、その撮像した画像データを管理装置に送信するものである。これにより、扉の開放を不正に行った者を瞬時に特定することができるようになり、また、この画像は動かすことのできない絶対的な証拠となり、不正防止を効果的に行うことができる。
【特許文献１】特開２０００－１０７３５３号公報
【特許文献２】特開２００３－６２２９３号公報
【発明の開示】
【発明が解決しようとする課題】
【０００４】
しかしながら、特許文献１に示す技術では遊技機は独自に遊技媒体の投入枚数やＢＥＴ枚数や入賞払い出し枚数を計数してクレジットの値を算出している。従って、上記特許文献１に示すように遊技媒体計数用のセンサを各遊技機に後付けすることは、システムのコストアップにつながることになる。さらに、上記特許文献１に示すシステムでは、セレクタエラーやホッパーエラーが検出された際に遊技媒体の補給を停止するだけで、そのエラーの原因を引き起こした人物の特定はできないため、防犯対策としては不十分であるとい

う問題点を有している。
【０００５】
　また、特許文献２に示す技術では遊技場ごとの管理装置に、不正を行った者の画像データを保存するものである。一般に、不正を行う者は1箇所の遊技場だけでなく複数の遊技場で不正を行う傾向があるが、特許文献２に示す技術では、この不正を行う者のデータを共有できず、ある遊技場で不正を行った者に対し、他の遊技場で予防等の措置が講じられないという問題点を有している。
【０００６】
　そこで本発明では、上述の如き課題を解決するため、廉価にエラーの検出を可能にするとともに、エラーを引き起こした人物の特定を可能にするものである。また、不正を行う者のデータを複数の遊技場で共有することで、不正行為の予防と防止を一層効果的に行うことを可能にするものである。
【課題を解決するための手段】
【０００７】
上記課題を解決するため、請求項１の発明は、不特定人物の撮像データを他の遊技場に配信して共有するための遊技場管理システムであって、
　少なくとも１つの遊技場には、
作動中の異常を検出し当該異常信号を送信する送信手段を備える複数の遊技機と、当該複数の遊技機に対応して配置し、前記異常信号を送信した遊技機遊技機の周囲の不特定人物を撮像して、当該不特定人物の撮像データを送信する少なくとも１つの撮像手段とを設け、
前記少なくとも１つの遊技場を含む複数の遊技場のいずれか、又は前記複数の遊技場を統轄する管理センターには、
　前記少なくとも１つの遊技場の撮像手段から受信した当該不特定人物の撮像データを、当該不特定人物の撮像データを送信した遊技場以外の他の遊技場に、配信する不特定人物撮像データ配信手段を、
設けた、遊技場管理システムとした。
【０００８】
また、請求項２の発明は、不特定人物の撮像データを他の遊技場に配信して共有するための遊技場管理システムであって、
少なくとも1つの遊技場には、
　作動中の異常を検出し当該異常信号を送信する送信手段を備える複数の遊技機と、当該複数の遊技機に対応して配置し、撮像の開始を指示する撮像開始信号を受信すると、前記異常信号を送信した遊技機の周囲の不特定人物を撮像して、当該不特定人物の撮像データを送信する少なくとも1つの撮像手段とを設け、
　前記少なくとも１つの遊技場を含む複数の遊技場のいずれか、又は前記複数の遊技場を統轄する管理センターには、
　前記少なくとも１つの遊技場の前記異常信号を受信すると、当該異常信号を送信した前記遊技機に対応する前記撮像手段に対して前記撮像開始信号を送信する撮像開始信号送信手段と、
　前記少なくとも１つの遊技場の撮像手段から受信した前記不特定人物の撮像データを、当該不特定人物の撮像データを送信した遊技場以外の他の遊技場に、配信する不特定人物撮像データ配信手段とを、
設けた、遊技場管理システムとした。
【０００９】
また、請求項３の発明は、不特定人物の撮像データを他の遊技場に配信して共有するための遊技場管理システムであって、
少なくとも1つの遊技場には、
　作動中の異常を検出し当該異常信号を送信する送信手段を備える複数の遊技機と、当該複数の遊技機に対応して配置し、撮像の開始を指示する撮像開始信号を受信すると、前記

異常信号を送信した遊技機の周囲の不特定人物を撮像して、当該不特定人物の撮像データを送信する少なくとも1つの撮像手段とを設け、
前記少なくとも1つの遊技場を含む複数の遊技場、又は前記複数の遊技場のいずれかとこれら前記複数の遊技場を統轄する管理センターに、
前記少なくとも1つの遊技場の前記異常信号を受信すると、当該異常信号を送信した前記遊技機に対応する前記撮像手段に対して前記撮像開始信号を送信する撮像開始信号送信手段と、
前記少なくとも1つの遊技場の前記撮像手段から受信した前記不特定人物の撮像データを、当該不特定人物の撮像データを送信した遊技場以外の他の遊技場に、配信する不特定人物撮像データ配信手段とを、
分散させて設けた、遊技場管理システムとした。

【００１０】

また、請求項４の発明は、不特定人物の撮像データを他の遊技場に配信して共有するための遊技場管理システムであって、
少なくとも1つの遊技場には、
作動中の異常を検出し当該異常信号を送信する送信手段を備える複数の遊技機と、当該複数の遊技機に対応して配置し、撮像の開始を指示する撮像開始信号を受信すると、前記異常信号を送信した遊技機の周囲の不特定人物を撮像して、当該不特定人物の撮像データを送信する少なくとも1つの撮像手段とを設け、
前記少なくとも1つの遊技場を含む前記複数の遊技場のいずれか、又はこれら前記複数の遊技場を統轄する管理センターには、
前記少なくとも1つの遊技場の前記異常信号を受信すると、当該異常信号を送信した前記遊技機に対応する前記撮像手段に対して前記撮像開始信号を送信する撮像開始信号送信手段と、
前記少なくとも1つの遊技場の撮像撮像手段から送信された前記不特定人物の撮像データを記憶するための不特定人物撮像データ記憶手段と、
前記撮像手段から送信された前記不特定人物の撮像データを、それまでに前記不特定人物撮像データ記憶手段に記憶した不特定人物の撮像データと照合し、前記不特定人物と一致する不特定人物の撮像データが存在するか否かを判定する不特定人物撮像データ判定手段と、
前記不特定人物と一致する不特定人物の撮像データが存在する場合に、当該一致する不特定人物の撮像データに関連付けて、今回一致した分を含む累積一致回数を記憶する一致回数記憶手段と、
前記不特定人物と一致する不特定人物の撮像データが存在しない場合に、前記撮像手段から送信された前記不特定人物の撮像データを前記不特定人物撮像データ記憶手段に新たに記憶する不特定人物撮像データ更新手段と、
前記累積一致回数が所定回数となった時に、前記不特定人物の撮像データを送信した遊技場以外の他の遊技場に、当該不特定人物の撮像データを配信する不特定人物撮像データ配信手段とを、
設けた、遊技場管理システムとした。

【００１１】

また、請求項５の発明は、不特定人物の撮像データを他の遊技場に配信して共有するための遊技場管理システムであって、
少なくとも1つの遊技場には、
作動中の異常を検出し当該異常信号を送信する送信手段を備える複数の遊技機と、当該複数の遊技機に対応して配置し、撮像の開始を指示する撮像開始信号を受信すると、前記異常信号を送信した遊技機の周囲の不特定人物を撮像して、当該不特定人物の撮像データを送信する少なくとも1つの撮像手段とを設け、
前記少なくとも1つの遊技場を含む前記複数の遊技場、又は前期複数の遊技場のいずれかとこれら前記複数の遊技場を統轄する管理センターに、

前記少なくとも1つの遊技場の前記異常信号を受信すると、当該異常信号を送信した前記遊技機に対応する前記撮像手段に対して前記撮像開始信号を送信する撮像開始信号送信手段と、

前記少なくとも1つの遊技場の撮像手段から送信された前記不特定人物の撮像データを記憶するための不特定人物撮像データ記憶手段と、

前記撮像手段から送信された前記不特定人物の撮像データを、それまでに前記不特定人物撮像データ記憶手段に記憶した不特定人物の撮像データと照合し、前記不特定人物と一致する不特定人物の撮像データが存在するか否かを判定する不特定人物撮像データ判定手段と、

前記不特定人物と一致する不特定人物の撮像データが存在する場合に、当該一致する不特定人物の撮像データに関連付けて、今回一致した分を含む累積一致回数を記憶する一致回数記憶手段と、

前記不特定人物と一致する不特定人物の撮像データが存在しない場合に、前記撮像手段から送信された前記不特定人物の撮像データを前記不特定人物撮像データ記憶手段に新たに記憶する不特定人物撮像データ更新手段と、

前記累積一致回数が所定回数となった時に、前記不特定人物の撮像データを送信した遊技場以外の他の遊技場に対して、当該不特定人物の撮像データを配信する不特定人物撮像データ配信手段とを、

分散させて設けた、遊技場管理システムとした。

【００１２】

また請求項６の発明は、不特定人物の撮像データを他の遊技場に配信して共有するための遊技場管理システムであって、

少なくとも１つの遊技場には、

作動中の異常を検出し当該異常信号を送信する送信手段を備える複数の遊技機と、当該複数の遊技機に対応して配置し、前記異常信号を送信した遊技機の周囲の不特定人物を撮像して、当該不特定人物の撮像データを送信する少なくとも１つの撮像手段を設け、

前記少なくとも１つの遊技場を含む前記複数の遊技場のいずれか、又はこれら前記複数の遊技場を統轄する管理センターには、

前記少なくとも１つの遊技場の前記撮像手段から前記不特定人物の撮像データを受信して記憶する一次記憶手段と、

前記異常信号を受信すると、前記一次記憶手段から前記不特定人物の撮像データを取得する取得手段と、

当該取得手段により取得した不特定人物の撮像データを記憶するとともに送信する二次記憶手段と、

前記二次記憶手段から受信した前記不特定人物の撮像データを、当該不特定人物の撮像データを送信した遊技場以外の他の遊技場に、配信する不特定人物撮像データ配信手段とを、

設けたことを特徴とする、遊技場管理システムとした。

【００１３】

また請求項７の発明は、不特定人物の撮像データを他の遊技場に配信して共有するための遊技場管理システムであって、

少なくとも１つの遊技場には、

作動中の異常を検出し当該異常信号を送信する送信手段を備える複数の遊技機と、当該複数の遊技機に対応して配置し、前記異常信号を送信した遊技機の周囲の不特定人物を撮像して、当該不特定人物の撮像データを送信する少なくとも１つの撮像手段とを設け、

前記少なくとも１つの遊技場を含む前記複数の遊技場、又は前記複数の遊技場のいずれかとこれら前記複数の遊技場を統轄する管理センターに、

前記少なくとも１つの遊技場の前記撮像手段から前記不特定人物の撮像データを受信して記憶する一次記憶手段と、

前記少なくとも１つの遊技場の前記異常信号を受信すると、前記一次記憶手段から前記不

特定人物の撮像データを取得する取得手段と、
当該取得手段により取得した不特定人物の撮像データを記憶するとともに送信する二次記憶手段と、
前記二次記憶手段から受信した前記不特定人物の撮像データを、当該不特定人物の撮像データを送信した遊技場以外の他の遊技場に配信する不特定人物撮像データ配信手段とを、分散させて設けた、遊技場管理システムとした。

【００１４】

また請求項８の発明は、不特定人物の撮像データを他の遊技場に配信して共有するための遊技場管理システムであって、
少なくとも１つの遊技場には、
作動中の異常を検出し当該異常信号を送信する送信手段を備える複数の遊技機と、当該複数の遊技機に対応して配置し、前記異常信号を送信した遊技機の周囲の不特定人物を撮像して、当該不特定人物の撮像データを送信する少なくとも１つの撮像手段とを設け、
前記少なくとも１つの遊技場を含む前記複数の遊技場のいずれか、又はこれら前記複数の遊技場を統轄する管理センターには、
前記少なくとも１つの遊技場の前記撮像手段から前記不特定人物の撮像データを受信して記憶する一次記憶手段と、
前記少なくとも１つの遊技場の前記異常信号を受信すると、前記一次記憶手段から前記不特定人物の撮像データを取得する取得手段と、
当該取得手段により取得した不特定人物の撮像データを記憶するとともに送信する二次記憶手段と、
前記不特定人物の撮像データを記憶するための不特定人物撮像データ記憶手段と、
　前記不特定人物の撮像データを前記二次記憶手段から受信し、当該不特定人物の撮像データから顔部分を検出し、検出した顔部分の撮像データとそれまでに前記不特定人物撮像データ記憶手段に記憶した不特定人物の撮像データとを照合し、前記不特定人物と一致する不特定人物の撮像データが存在するか否かを判定する不特定人物撮像データ判定手段と、
前記不特定人物と一致する不特定人物の撮像データが存在する場合に、当該一致する不特定人物の撮像データに関連付けて、今回一致した分を含む累積一致回数を記憶する一致回数記憶手段と、
前記不特定人物と一致する不特定人物の撮像データが存在しない場合に、前記二次記憶手段から送信された前記不特定人物の撮像データを前記不特定人物撮像データ記憶手段に新たに記憶する不特定人物撮像データ更新手段と、
前記累積一致回数が所定回数となった場合に、前記不特定人物の撮像データを送信した遊技場以外の他の遊技場に、当該不特定人物の撮像データを配信する不特定人物撮像データ配信手段とを、
設けた、遊技場管理システムとした。

【００１５】

また請求項９の発明は、不特定人物の撮像データを他の遊技場に配信して共有するための遊技場管理システムであって、
少なくとも１つの遊技場には、
作動中の異常を検出し当該異常信号を送信する送信手段を備える複数の遊技機と、当該複数の遊技機に対応して配置し、前記異常信号を送信した遊技機の周囲の不特定人物を撮像して、当該不特定人物の撮像データを送信する少なくとも１つの撮像手段とを設け、
少なくとも１つの遊技場を含む前記複数の遊技場、又は前記複数の遊技場のいずれかとこれら前記複数の遊技場を統轄する管理センターに、
前記少なくとも1つの遊技場の前記撮像手段から前記不特定人物の撮像データを受信して記憶する一次記憶手段と、
前記少なくとも1つの遊技場の前記異常信号を受信すると、前記一次記憶手段から前記不特定人物の撮像データを取得する取得手段と、

当該取得手段により取得した不特定人物の撮像データを記憶するとともに送信する二次記憶手段と、
前記不特定人物の撮像データを記憶するための不特定人物撮像データ記憶手段と、
前記不特定人物の撮像データを前記二次記憶手段から受信し、当該不特定人物の撮像データから顔部分を検出し、検出した顔部分の撮像データとそれまでに前記不特定人物撮像データ記憶手段に記憶した不特定人物の撮像データとを照合し、前記不特定人物と一致する不特定人物の撮像データが存在するか否かを判定する不特定人物撮像データ判定手段と、
前記不特定人物と一致する不特定人物の撮像データが存在する場合に、当該一致する不特定人物の撮像データに関連付けて、今回一致した分を含む累積一致回数を記憶する一致回数記憶手段と、
前記不特定人物と一致する不特定人物の撮像データが存在しない場合に、前記二次記憶手段から送信された前記不特定人物の撮像データを前記不特定人物撮像データ記憶手段に新たに記憶する不特定人物撮像データ更新手段と、
前記累積一致回数が所定回数となった場合に、前記不特定人物の撮像データを送信した遊技場以外の他の遊技場に、当該不特定人物の撮像データを配信する不特定人物撮像データ配信手段とを、
分散させて設けた、遊技場管理システムとした。

【００１６】

また請求項１０の発明は、前記取得手段は、前記一次記憶手段に記憶している前記不特定人物の撮像データのうち、所定時間分の前記不特定人物の撮像データを取得する、請求項６～９のいずれかに記載の遊技場管理システムとした。

【００１７】

また請求項１１の発明は、前記異常信号は、前記遊技機のセレクタ部の異常を示すセレクタエラー信号又は前記遊技機のホッパー部の異常を示すホッパーエラー信号である、請求項1～１０のいずれかに記載の遊技場管理システムとした。

【発明の効果】

【００１８】

請求項１～１１の発明によれば、セレクタやホッパーに遊技媒体の通過を検知するセンサ等の装置が必要であるが、これらのセンサは既にほとんどの遊技機に取り付けられている実情を考えると、今般本発明のためにこれらのセンサを新たに取り付ける必要がなく、その点で、セレクタエラーやホッパーエラーといった異常を検出するためのコストが従来のものと比較して廉価となる。また、1つの遊技場で異常を引き起こすと、当該不特定人物の撮像データは、ネットワークで接続された他の遊技場に配信されるため、１つの遊技場で異常を引き起こした不特定人物のデータが、ネットワークで接続された他の遊技場で共有可能となり、他の遊技場ではあらかじめその者を出入禁止にしたり、来場した際には重点的にマークしたりするなどの対策を講じやすく、遊技場の被る被害を最小限に抑制できる。

【００１９】

また、特に請求項２～５の発明よれば、上記異常が発生した場合に、異常を引き起こした不特定人物を撮像手段で撮像するため、異常を引き起こした人物を特定できる。また、特に請求項４～５及び８～１１の発明によれば、ある遊技場で異常を引き起こした不特定人物の撮像データは、当該不特定人物が所定の回数以上撮像されている場合に、ネットワークで接続された他の遊技場に配信されるため、例えば撮像手段の誤作動によってたまたま撮像された者の撮像データ等は配信されず、何度も撮像され不正行為者である可能性が高い者の撮像データのみを他の遊技場に配信することが可能となる。従って、必要性が高いと考えられる不特定人物の撮像データが他の遊技場に配信されることでデータの共有ができるため、より精度良く不正行為の防止をすることができる。

【００２０】

また、特に請求項６～１１の発明によれば、撮像手段で常時撮像を行ない、当該撮像デー

タを一次記憶手段に記憶し、取得手段で撮像データの一部分を任意に選択して取得し、撮像データの一部分を二次記憶手段に記憶し、ネットワークで接続された他の遊技場に配信する。この場合の撮像データは静止画像のデータではなく、動画像のデータである。従って、不正行為者の顔だけでなく、不正行為者のおこなった不正行為の一連の動作も撮像することができる。そのため当該不正行為者の不正行為の手口も特定することができる。

【００２１】

また、特に請求項１０の発明によれば、一次記憶手段から所定時間分の撮像データを取得するように、取得手段を設定する。そのため、遊技場の管理者等が一次記憶手段に記憶されている撮像データから不正行為者の顔や不正行為の手口の特定に必要な部分を選択して取得し、二次記憶手段に記憶するという作業を行う必要がなくなり便宜である。

【発明を実施するための最良の形態】

【００２２】

不特定人物の撮像データを他の遊技場に配信して共有するための遊技場管理システムであって、少なくとも１つの遊技場には、

作動中の異常を検出し当該異常に関する異常信号を送信する送信手段を備える複数の遊技機と、当該複数の遊技機に対応して配置し、前記異常信号を送信した遊技機に対して前記異常を引き起こした不特定人物を撮像して、当該不特定人物の撮像データを送信する少なくとも１つの撮像手段と、複数の前記遊技場のいずれか、又はこれら複数の前記遊技場を統轄する管理センターには、

前記不特定人物の撮像データを前記撮像手段から受信した場合に、当該不特定人物の撮像データを送信した遊技場以外の他の遊技場に対して、当該不特定人物の撮像データを配信する不特定人物撮像データ配信手段を、設けたことにより、１つの遊技場で不正行為を行った者のデータが、ネットワークで接続された複数の遊技場で共有可能となり、他の遊技場で対策を講じやすく、遊技場の被る被害を最小限に抑制できる。

【実施例１】

【００２３】

以下、本発明の実施例１を図１及び図２に基づいて説明する。図１は、本実施例の各遊技場内での遊技場管理システムの構成を回胴式遊技機の場合で示した概略構成図であり、図２は複数の遊技場の管理装置と管理センターの総合管理装置７との構成を示すブロック図である。図１に示すように遊技場管理システムAは、遊技機２、この遊技機２の周辺に配置した台間機３、呼出ランプ４、及び台コンピュータ５が一組として設けられ、これらは通信回線６によって接続され、この様な一組の装置を遊技場内に多数配置し、上記各組の台コンピュータ５は島コンピュータ(図示省略)等を介して、又は直接管理装置１に接続されている。遊技機２の右端には撮像手段としてＣＣＤ（Charge Coupled Device）カメラ８とフラッシュランプ９が前方に向けて設けられている。また遊技場Aの管理装置１は、図２に示すようにネットワークを通じて、各遊技場を統轄する役割を有する管理センター等に設けられた総合管理装置７に接続されており、総合管理装置７は遊技場B、遊技場C、遊技場Dといった他の遊技場の管理装置１に接続されている。

【００２４】

図１において、遊技機２はメダルなどの遊技媒体を用いて所定の遊技が行われる機器であって、具体的には回胴式遊技機、すなわちスロットマシンである。遊技機２は、遊技媒体の投入口から連続して設けられているセレクタにメダル等の遊技媒体の通過を検知するセンサを設けて、遊技に供した遊技媒体の枚数(BET枚数)を計数している。そして例えばセレクタが詰まる等して遊技媒体が通過せず、センサが遊技媒体を検知する状態が一定時間以上続いたり、予め定めた間隔以上の速さで遊技媒体を検知したりした場合には、遊技機２はエラーとして外部集中端子基板(図示省略)を通じてセレクタエラー信号を外部に出力する。

【００２５】

また、遊技機２はその内部に、遊技媒体を貯蓄できるホッパーを有している。そしてこのホッパーから外部に遊技媒体を排出する排出口に遊技媒体の通過を検知するセンサを設け

て、排出口から排出される遊技媒体の枚数をこのセンサで計数している。当該計数結果と遊技による入賞時に出力される遊技媒体の払出指令信号とを遊技機２内部に設けたＣＰＵ(Central Processing Unit)等の装置を用いて照合し、枚数が合わない場合には、遊技機２はエラーとして外部集中端子基板を通じてホッパーエラー信号を出力する。このように遊技機２は、セレクタやホッパーの排出口にセンサを設ける構成としているため、これらのセンサは既にほとんどの遊技機で取り付けられている実情を考えると、今般本発明のために新たに取り付ける必要がなく、その点でコストを低減することができる。

【００２６】

台間機３は、遊技媒体の貸し出しなどを行う装置であって、通常、遊技機２と隣接して設置されている。また、呼出ランプ４は、通常、遊技機２の上方に設置されており、遊技に関するデータの表示や入賞時のランプの点滅等による演出を行う機能を備えるほか、従業員を呼び出すための呼出ボタンが備えられている。

【００２７】

台コンピュータ５は、遊技機２と管理装置１との間の相互の通信に関する中継装置である。また、台コンピュータ５は、図１においては遊技機２毎に備えられているが、これに限るものではなく、複数の遊技機２に対して１つ備える構成にしてもよい。

【００２８】

ＣＣＤカメラ８は、後述するように管理装置１からの撮像開始信号を受信して遊技機２の前方の撮像を行う。また、フラッシュライト９は、ＣＣＤカメラ８の撮像動作と同期して動作し、瞬間的に点灯し撮影対象を明るくするものである。本実施例では、撮像手段として、遊技機に設けていても小さくて目立たないためＣＣＤカメラ８を挙げたが、撮像手段はこれに限るものではなく、遊技機２の前方にいる不特定人物の顔を画像として取り込むことができるものであればよく、画像の取り込みには、画像の撮像と画像の走査とを含む。

【００２９】

また、当該撮像データは、静止画像のフォーマット(例えば、pic、bmp、gif、jpg等)で形成される。また本実施例では、ＣＣＤカメラ８を遊技機２に設けているが、これに限るものではなく、不特定人物の顔を撮像できる位置に設ければよく、例えば台間機３や呼出ランプ４に設ける構成にしてもよい。また、ＣＣＤカメラ８は、図１においては遊技機２毎に備えられているが、これに限るものではなく、複数の遊技機２に対して１つ備える構成にしてもよい。

【００３０】

管理装置１は、プログラム制御により動作するコンピュータであって、図３に示すように通信部１０と、記憶部１１と、表示部１２と、入力部１３と、制御部１４とを備えている。通信部１０は、遊技機２、台間機３、呼出ランプ４、台コンピュータ５、ＣＣＤカメラ８、フラッシュライト９と、通信回線６によって接続され、また通信部１０はネットワークを通じて総合管理装置７に接続されており、所定のデータや信号の送受信を行う。

【００３１】

記憶部１１は、遊技データ等の各種のデータや、管理装置１の有する各種機能を実行するためのプログラムを記憶する。例えば記憶部１１は、制御部１４で行うプログラムの実行に必要なデータやファイル等を一時的に格納するメインメモリ、ワークエリア等として機能するRAM(Random Access Memory)と、基本I/Oプログラム等の各種データを記憶するROM(Read Only Memory)と、アプリケーションプログラム、オペレーティングシステム(OS)、制御プログラム、関連プログラム等を記憶し、大容量メモリーとして機能するハードディスク(HD)とを備える。また、この記憶部１１は、後述するように不特定人物の顔の画像を中心とした不特定人物の撮像データを記憶する手段となる。

【００３２】

また記憶媒体(メディア)へのアクセスを実現するための外部記憶ドライブを記憶部１１に備えれば、記憶媒体に記憶されたプログラム等を管理装置１のシステムにロードすることができる。記憶媒体には、フレキシブルディスク(FD)、CD－ROM、CD－R、CD－RW、PCカー

ド、DVD、ICメモリーカード、MO、メモリースティック等が含まれる。

【００３３】

表示部１２は、各種のデータ、例えば遊技に関するデータや遊技機２の稼動データを表示したり、入力部１３を用いて、本発明の遊技場管理システムを制御するコマンドやそれに対する応答出力等を表示したりする、ＣＲＴ、液晶ディスプレイ、プラズマディスプレイ、モニター等である。

【００３４】

入力部１３は、キーボードやポインティングデバイス（マウス）、タッチパネル等に代表されるユーザーインターフェイスであって、遊技場の管理者や従業員により、所定のデータや命令等が入力される。特に、撮像した不特定人物のデータには、撮像された日付や時刻、当該不特定人物の特徴点、その他のコメント等のデータが自動的に付加されるが、遊技場の管理者や従業員の必要に応じ、入力部１３を用いて更にこれらのデータを付加したり、書き換えたりすることができる。

【００３５】

制御部１４は、例えば、ＣＰＵにより構成することができ、記憶部１１に記憶されているアプリケーションプログラム、ＯＳや制御プログラム等を読み込んで実行することにより、管理装置１の構成各部に指令を送り、又は自ら動作して管理装置１の有する各種機能を実行・制御する。特に制御部１４は、遊技機２からセレクタエラー信号又はホッパーエラー信号といった異常信号を受信すると、ＣＣＤカメラ８に撮像開始信号を出力する手段となる。

【００３６】

また、遊技場の営業時間中において、各遊技機２から管理装置１へ、遊技に関するデータや稼動データが送信される。管理装置１の通信部１０で受信したこれらのデータは記憶部１１へ送られて記憶される。また、これらのデータは制御部１４で集計され記憶部１１へ送られて記憶される場合もある。

【００３７】

以上の各装置と同等の機能を実現するソフトウェアにより、ハードウェアの代替として管理装置１を構成することもできる。なお図３では、説明の便宜のため、本発明の管理装置１を一つの装置で実現した構成について述べたが、複数の装置にリソースを分散した構成によって実現してもよい。例えば、記憶や演算のリソースを複数の装置に分散した形に構成してもよい。又は、本発明の遊技場管理システム上で仮想的に実現される構成要素ごとにリソースを分散し、並列処理を行うようにしてもよい。

【００３８】

総合管理装置７は、図２に示すように複数の遊技場の管理装置１を統轄するために、上述のように遊技場とは別個に設けた管理センター内に配置するとともに、遊技場A、B、C、Dといった複数の遊技場の各管理装置１とネットワークを通じて接続されており、双方向で通信可能な構成とする。各遊技場の管理装置１は定期的に、例えば当日及び過去の遊技に関するデータや稼動データ等を総合管理装置７に送信する。総合管理装置７は、これらのデータを、通信部１５を通じて受信し、各遊技場の遊技機２毎に記憶部１６に記憶する。また、総合管理装置７は制御部１７で、これらのデータを各遊技場の遊技機２毎に集計し、集計されたデータを記憶部１６に記憶する。そして集計されたデータを、選択的に表示部１８に表示する。

【００３９】

特に総合管理装置７は、管理装置１から送信された不特定人物のデータを通信部１５で受信し、当該データをコピーして記憶部１６に記憶し、当該データをネットワークで接続されている複数の遊技場の管理装置１に配信する。

【００４０】

また、遊技場から受信した不特定人物の撮像データには、当該撮像データを受信した日付、時刻、撮像された遊技場名、当該遊技場の所在地、不特定人物の特徴点、その他のコメント等のデータが自動的に付加される構成としている。しかし、これに限られず、総合管

理装置７の管理者等はキーボードやマウス等の入力部１９を用いて、これらのデータを手入力で付加してネットワークで接続されている複数の遊技場の管理装置１に当該不特定人物の撮像データを配信する構成としてもよいし、自動的に付加される上記データに管理者等が更に新たなデータを付加したり、データの変更・削除等ができる構成としてもよい。

【００４１】

総合管理装置７から送信されてきた当該不特定人物のデータは、自動的に各遊技場の管理装置１の記憶部１１に記憶され、当該遊技場における不正行為者発見に役立てることができる。なお、総合管理装置７から送信されてきた当該不特定人物のデータは、各遊技場の管理者等が入力部１３を用いて手入力で、管理装置１の記憶部１１に記憶させる構成にしてもよい。その後、各遊技場のいずれかで、当該不特定人物を撮像した場合には、一回でも撮像されたら、その旨を総合管理装置７に送信してもよいし、所定の回数撮像されたら、その旨を総合管理装置７に送信するように設定してもよい。

【００４２】

次に、本実施例の動作を、図４を用いて時系列的に説明する。いわゆるゴト行為等の不正行為が行われると、遊技機２はセレクタエラー信号又はホッパーエラー信号といった異常信号を出力する。そして管理装置１の通信部１０が、これらの信号を、通信回線を通じて受信すると、管理装置１の制御部１４は、当該異常信号に含まれている識別番号を解析することにより、当該信号を出力した遊技機２を特定し、撮像開始信号を当該遊技機２の近傍に設けられているＣＣＤカメラ８に出力する。

【００４３】

ＣＣＤカメラ８と同期しているフラッシュライト９は、ＣＣＤカメラ８が撮像開始信号を受信すると、瞬間的に点灯すると共に、ＣＣＤカメラ８がその瞬間を撮像し、当該撮像データを記憶装置(図示省略)に記憶する。この撮像データには、通常は不特定人物として遊技者が撮影されている。そして当該撮像データは通信回線を通じて管理装置１に送信される。なお、本実施例では撮像によって得られる画像データを鮮明なものにすべく、ＣＣＤカメラ８の撮像の際にフラッシュライト９を点灯させる構成を示したが、遊技場の明るさに応じて、フラッシュライト９は選択的に使用する構成にしてもよい。

【００４４】

ＣＣＤカメラ８が撮像した前記不特定人物の撮像データを、通信部１０を介して受信した管理装置１は、当該不特定人物の撮像データを、ネットワークを通じて総合管理装置７に送信する。

【００４５】

そして、当該撮像データを受信した総合管理装置７は、記憶部１６に当該撮像データを記憶した後、他の複数の遊技場の管理装置１に当該撮像データを配信する。

【００４６】

このような構成とすることにより、１つの遊技場で不正行為を行った者の撮像データが総合管理装置７を介して、ネットワークで接続された複数の遊技場で共有可能となり、他の遊技場で対策を講じやすく、遊技場の被る被害を最小限に抑制できる。

また、当該撮像データを管理装置１と総合管理装置７の２箇所で保存するため、不正行為を行っている可能性の高い不特定人物の顔の画像を確実に保存できる。

【００４７】

また、本実施例では、管理センター内の総合管理装置７を介して、ある遊技場で撮像された不特定人物の撮像データを他の遊技場に配信する構成としているが、図５に示すように総合管理装置７を介さずに直接、他の遊技場に当該不特定人物の撮像データを配信する構成としてもよい。このような構成にすれば管理センター等に各遊技場の管理装置を統括する総合管理装置７をわざわざ設ける必要がなく、設備にかかるコストが低減する。

【実施例２】

【００４８】

次に本発明の実施例２について説明する。本実施例は、上述した実施例１の管理装置１に更なる構成を付加したものであり、その他の構成及び効果は実施例１と同様である。

【００４９】
具体的には、ＣＣＤカメラ８から不特定人物の撮像データを受信すると、管理装置１の制御部１４は、それまでに記憶部１１に記憶されている不特定人物の各撮像データと照合し、当該不特定人物が、それまでに記憶されている撮像データのいずれかの不特定人物と同一人であるか否かを判定する構成を有する。
【００５０】
次に、本実施例の動作を、図６を用いて時系列的に説明する。不特定人物を撮像したＣＣＤカメラ８から、当該不特定人物の撮像データを、通信部１０を介して受信した管理装置１は、制御部１４で当該撮像データから顔認証技術を用いて、当該不特定人物の顔の特徴点を割り出す。そして記憶部１１から、記憶済みの不特定人物の撮像データを呼び出して、当該撮像データの特徴点と記憶済みの撮像データの特徴点を比較、照合し、それまでに記憶済みの撮像データの中に、当該撮像データの不特定人物と一致する不特定人物の撮像データが存在するか否かを判定する。
【００５１】
上記判定の結果、一致する撮像データが存在しない場合には、当該撮像データを新たな不特定人物のデータとして管理装置１の記憶部１１に記憶するとともに、これらのデータに関連づけられた回数データを「１」とする。
【００５２】
なお、当該撮像データに識別番号を付して記憶しておけば、後に識別番号を入力すると、当該撮像データを直ちに呼び出せるようになる等、便宜である。
【００５３】
一方、記憶済みの撮像データの中に当該撮像データの不特定人物と一致する不特定人物の撮像データが存在する場合には、当該記憶済みの撮像データに関連付けられた回数データに「１」を加算すると共に、当該記憶済みの撮像データのフォルダに当該撮像データを分類して、記憶部１１に記憶する。そして記憶済みの撮像データに関連付けられている回数データが所定の回数になった場合には、当該記憶済みの撮像データを、ネットワークを通じて総合管理装置７に送信する。
【００５４】
なお、この回数データは、一致回数を示す累積値である。ただし、新たに記憶された場合は一致したものではないが、便宜上新規記憶時の回数データを１とした。従って、新規記憶時の回数データはこれに限るものではなく、「０」としてもよい。また、累積一致回数がわかればよいため、表現方法は数字に限られず、数字以外の例えばアルファベットといった表現方法を用いても構わない。また、回数データの所定の回数は、管理装置１の設定によって自由に変えられるのは言うまでもない。なお、本実施例においては回数データに加算する場合に「１」を単位としたが、加算する単位も管理装置１の設定によって自由に変えられるのは言うまでもない。また、初期状態では管理装置１の記憶部１１に記憶している不特定人物撮像データの数は0であるので、この場合は判定するまでもなく新たに記憶することとなる。
【００５５】
このように、管理装置１で比較・照合して、所定回数以上で総合管理装置７に送信する構成とすることにより、たまたま遊技機２の故障等に遭って撮像されたが、不正行為を行っていない遊技者の画像は総合管理装置７に送信されないので、当該遊技者が他の遊技場で不必要に警戒される事態を防止することができる。
【００５６】
上述した顔認証技術を用いた、当該撮像データとそれまでに記憶部１１に記憶済みの各撮像データの比較、照合は、例えば次の方法で実行できる。記憶済みの撮像データの画像から、顔領域(顔画像)を抽出して、顔の位置の変動を補正し、背景画像を除去する。顔領域の抽出は、この顔領域を低解像度にして、大局的マッチングにより実行する。次いで、顔領域の大きさや傾きを補正する。この補正は正規化基準点(例えば、左右目頭等)の位置を抽出し、この正規化基準点に基づいて顔領域を拡大・縮小、回転して行う。続いて、補

正した顔領域の大きさや傾きを正規化する。そして正規化した顔領域から顔構成部画像(例えば、目、鼻、口等の画像)を抽出する。

【００５７】

さらに、この記憶済みの各撮像データに対して行った処理を当該撮像データに対しても実行し、これら抽出された記憶済みの撮像データ及び当該撮像データの顔構成部画像を、照明変動の影響を受けにくい照合方法(例えば、目・鼻・口部分の濃淡値パターンを用いる方法)で照合する。

【００５８】

このような方法を用いて記憶済みの撮像データと当該撮像データとの照合を行うことで、個人差の現れる顔の特徴部分が各画像から抽出されて照合されるため、例えば、記憶済みの撮像データの示す人物画像と当該撮像データの示す人物画像との比較で、髪型、背景、顔の向き等が相違していたとしても、同一人物であるかどうかを解明できる。

【００５９】

また、このように顔の特徴部分を、各画像から抽出して照合する顔認証技術だけでなく、記憶済みの撮像データと当該撮像データの各顔領域(顔画像)を分割し、分割した複数の要素の一致の程度(例えば、９０％)によって同一人物の撮像データであるかどうかを判定する顔認証技術を用いてもよい。また、その他の顔認証技術を採用可能であることは言うまでもない。

【００６０】

また、本実施例においてはＣＣＤカメラ８で撮像した当該撮像データが、管理装置１に送信されると、管理装置１の制御部１４でそれまでに記憶済みの各撮像データと比較、照合する構成としているが、管理装置１で、当該撮像データと記憶済みの各撮像データと比較、照合せずに、当該撮像データを総合管理装置７に送信し、記憶済みの各撮像データとの比較、照合は、総合管理装置７で行う構成としてもよい。この場合、総合管理装置７は、ネットワークで接続されている複数の遊技場からの同一の不特定人物の撮像データの送信回数が、所定の回数になった場合には、当該不特定人物の撮像データを複数の遊技場の管理装置１に送信する。このような構成にすれば、１つの遊技場で同一の不特定人物が複数回撮像されることが必要とされないため、各遊技場のいわゆるゴト行為といった不正行為の被害を小さくすることができる。

【００６１】

このように本実施例では、遊技機から異常信号を受信し、当該異常信号を送信した遊技機に対応する撮像手段に対して撮像開始信号を送信する撮像開始信号送信手段と、不特定人物の撮像データを記憶するための不特定人物撮像データ記憶手段と、CCDカメラ８等の撮像手段から送信された当該不特定人物の撮像データを、それまでに不特定人物撮像データ記憶手段に記憶した不特定人物の撮像データと照合し、当該不特定人物と一致する不特定人物の撮像データが存在するか否かを判定する不特定人物撮像データ判定手段と、前記不特定人物と一致する不特定人物の撮像データが存在する場合に、一致する不特定人物の撮像データに関連付けて、今回一致した分を含む累積一致回数を記憶する一致回数記憶手段と、前記不特定人物と一致する不特定人物の撮像データが存在しない場合に、前記不特定人物の撮像データを前記不特定人物撮像データ記憶手段に新たに記憶する不特定人物撮像データ更新手段と、前記累積一致回数が所定回数となった場合に、前記不特定人物撮像データを管理センターに送信する手段を各遊技場で備える構成とし、遊技場から送信された当該不特定人物撮像データを、当該不特定人物の撮像データを送信した遊技場以外の他の遊技場に対して、配信する不特定人物撮像データ配信手段を、管理センターで備える構成としている。しかし、この構成に限らず、上記各手段を各遊技場と管理センターに分散して、あるいは複数の遊技場に分散して設け、それぞれをネットワークで接続する構成としてもよく、その組み合わせは自在である。

【実施例３】

【００６２】

次に本発明の実施例３について説明する。実施例１及び２では、不正行為を引き起こした

不特定人物の静止画像をＣＣＤカメラ８等の撮像手段で撮像する構成である。このように、静止画像を撮像する構成の場合、不特定人物の顔を特定するができる。一方、当該不特定人物の不正行為の一部始終を動画像で撮像すれば、不特定人物の顔だけでなく、当該不特定人物の行ったゴト行為といった不正行為を特定することも可能となり、撮像データから得られる情報も格段に増え、不正行為の防止に一層役立てることができる。

【００６３】

そこで本実施例では、不特定人物の撮像手段として動画像を撮像できるＣＣＤビデオカメラを用いる。本実施例では、撮像手段として、遊技機に設けていても小さくて目立たないためＣＣＤビデオカメラを挙げたが、撮像手段はこれに限るものではなく、遊技機２の前方にいる不特定人物の顔を動画像として取り込むことができるものであればよく、画像の取り込みには、動画像の撮像と画像の走査とを含む。ＣＣＤビデオカメラは不特定人物を撮像できる位置に設ければよく、例えば遊技機２、台間機３や呼出ランプ４に設ける。また、ＣＣＤビデオカメラは、遊技機２毎に備える構成でも、複数の遊技機２に対して１つ備える構成にしてもよい。不特定人物を撮像できる位置に設けられたＣＣＤビデオカメラは少なくとも遊技場の開店時間中は常時撮像している。そして、当該撮像データは、動画像のフォーマット(例えば、MPEG方式等)で形成される。

【００６４】

管理装置２０は、プログラム制御により動作するコンピュータであって、図７に示すように通信部１０と、一次記憶部２１と、二次記憶部２２と、表示部１２と、入力部１３と、制御部１４とを備えている。一次記憶部２１は、ＣＣＤビデオカメラが撮像した撮像データを一時的に記憶する、例えばＲＡＭなどの揮発性記憶装置、あるいは不揮発性記憶装置である。そして、この一次記憶部２１には、ＣＣＤビデオカメラの撮像した撮像データが常に送信され、一次記憶部２１はこの撮像データを逐次記憶するとともに、記憶容量が不足すると最も古いデータを自動的に消去して、最新の撮像データを記憶する構成としている。

【００６５】

二次記憶部２２は、遊技データ等の各種のデータや、管理装置１の有する各種機能を実行するためのプログラムを記憶する。例えば二次記憶部２２は、制御部１４で行うプログラムの実行に必要なデータやファイル等を一時的に格納するメインメモリ、ワークエリア等として機能するRAM(Random Access Memory)と、基本I/Oプログラム等の各種データを記憶するROM(Read OnlyMemory)と、アプリケーションプログラム、オペレーティングシステム(OS)、制御プログラム、関連プログラム等を記憶し、大容量メモリーとして機能するハードディスク(HD)とを備える。また特に、この二次記憶部２２は、後述するように一次記憶部２１に記憶されている不特定人物の撮像データの一部を記憶する手段となり、これらの不特定人物の撮像データはROMやハードディスク(HD)といった不揮発性の記憶装置に記憶するのが望ましい。

【００６６】

また記憶媒体(メディア)へのアクセスを実現するための外部記憶ドライブを二次記憶部２２に備えれば、記憶媒体に記憶されたプログラム等を管理装置１のシステムにロードすることができる。記憶媒体には、フレキシブルディスク(FD)、CD－ROM、CD－R、CD－RW、PCカード、DVD、ICメモリーカード、MO、メモリースティック等が含まれる。

【００６７】

次に、図８を用いて本実施例の動作を時系列的に説明する。ＣＣＤビデオカメラは遊技場の開店時間中は遊技機２の前方にいる不特定人物を常時撮像し、撮像データを一次記憶部２１に記憶している。いわゆるゴト行為等の不正行為が行われると、遊技機２はセレクタエラー信号またはホッパーエラー信号といった異常信号を出力する。そして管理装置１の通信部１０が、これらの信号を、通信回線を通じて受信すると、管理装置１の制御部１４は、当該信号に含まれている識別番号を解析することにより、当該信号を出力した遊技機２を特定し、一次記憶部２１に記憶されている撮像データの中から、当該遊技機２に対応して設けられているＣＣＤビデオカメラが撮像した撮像データを特定する。そして、制

御部１４は当該撮像データから所定時間分の撮像データを選択して取得し、二次記憶部２２に記憶する。異常信号が出力された前後の夫々３０秒間分の撮像データを選択して取得する。あるいは異常信号の出力される前の３分間分の撮像データを選択して取得するなど、制御部１４が一次記憶部２１に記憶されている撮像データの中から、どの部分を選択して取得し、二次記憶部２２に記憶するのかをあらかじめ設定しておくのが望ましい。

【００６８】

二次記憶部２２に記憶された前記不特定人物の撮像データを、管理装置１は、ネットワークを通じて総合管理装置７に送信する。そして、当該撮像データを受信した総合管理装置７は、記憶部１６に当該撮像データを記憶した後、他の複数の遊技場の管理装置１に当該撮像データを配信する。

【００６９】

なお、上述していない本実施例のその他の構成及び効果は実施例１と同様である。

【実施例４】

【００７０】

次に本発明の実施例４について説明する。本実施例は、上述した実施例３の管理装置１に更なる構成を付加したものであり、その他の構成及び効果は実施例３と同様である。

【００７１】

具体的には、ＣＣＤビデオカメラで撮像し、一次記憶部２１に記憶した不特定人物の撮像データの一部を二次記憶部２２に記憶すると、管理装置１の制御部１４は、当該撮像データをそれまでに二次記憶部２２に記憶されている不特定人物の各撮像データと照合し、当該不特定人物が、それまでに記憶されている撮像データのいずれかの不特定人物と同一人であるか否かを判定する構成を有する。

【００７２】

次に、本実施例の動作を、図９を用いて時系列的に説明する。制御部１４は、ＣＣＤビデオカメラで撮像した撮像データは動画像であるため、二次記憶部２２から当該撮像データを呼び出し、動画像の中から人物の顔を抽出する。そして二次記憶部２２から、それまでに記憶済みの不特定人物の撮像データを呼び出して、当該撮像データから抽出した人物の顔と記憶済みの撮像データから抽出した人物の顔を比較、照合し、それまでに記憶済みの撮像データの中に、当該撮像データの不特定人物と一致する不特定人物の撮像データが存在するか否かを判定する。

【００７３】

上記判定の結果、一致する撮像データが存在しない場合には、当該撮像データを新たな不特定人物のデータとして管理装置１の二次記憶部２２に記憶するとともに、これらのデータに関連づけられた回数データを「１」とする。

【００７４】

なお、当該撮像データに識別番号を付して記憶しておけば、後に識別番号を入力すれば、当該撮像データを直ちに呼び出せる等、便宜である。

【００７５】

一方、記憶済みの撮像データの中に当該撮像データの不特定人物と一致する不特定人物の撮像データが存在する場合には、当該記憶済みの撮像データに関連付けられた回数データに「１」を加算すると共に、当該記憶済みの撮像データのフォルダに当該撮像データを分類して、二次記憶部２２に記憶する。そして記憶済みの撮像データに関連付けられている回数データが所定の回数になった場合には、当該記憶済みの撮像データを、ネットワークを通じて総合管理装置７に送信する。

【００７６】

なお、この回数データは、一致回数を示す累積値である。ただし、新たに記憶された場合は一致したものではないが、便宜上新規記憶時の回数データを１とした。従って、新規記憶時の回数データはこれに限るものではなく、「０」としてもよい。また、累積一致回数がわかればよいため、表現方法は数字に限られず、数字以外の例えばアルファベットといった表現方法を用いても構わない。また、回数データの所定の回数は、管理装置１の設定

によって自由に変えられるのは言うまでもない。なお、本実施例においては回数データに加算する場合に「１」を単位としたが、加算する単位も管理装置１の設定によって自由に変えられるのは言うまでもない。また、初期状態では管理装置１の二次記憶部２２に記憶している不特定人物撮像データの数は0であるので、この場合は判定するまでもなく新たに記憶することとなる。

【００７７】

このように、管理装置１で比較・照合して、所定回数以上で総合管理装置７に送信する構成とすることにより、たまたま遊技機２の故障等に遭って撮像されたが、不正行為を行っていない遊技者の画像は総合管理装置７に送信されないので、当該遊技者が他の遊技場で不必要に警戒される事態を防止することができる。

【００７８】

上述した当該撮像データとそれまでに二次記憶部２２に記憶済みの各撮像データの比較、照合は、例えば次の方法で実行できる。制御部１４は、二次記憶部２２から当該撮像データを呼び出し、当該画像データから人物の顔を検出する。例えば、顔全体の輪郭に対応した基準テンプレートを用いたテンプレートマッチングによって顔を検出するように構成されても良い。また、顔の構成要素(目、鼻、耳など)に基づくテンプレートマッチングによって顔を検出するように構成されても良い。またクロマキー処理によって頭部などの頂点を検出し、この頂点に基づいて顔を検出するように構成されても良い。また、肌の色に近い領域を検出し、その領域を顔として検出するように構成されても良い。また、ニューラルネットワークを使って教師信号による学習を行い、顔らしい領域を顔として検出するように構成されても良い。また、その他既存のどのような技術が適用されることによって実現されても良い。そして検出された顔の画像から、輝度分布や色ヒストグラム等の特徴量を取得する。

【００７９】

なお、当該撮像データに対して行った上述の処理を、それまでに二次記憶部２２に記憶済みの撮像データに対しても実行する。そして当該撮像データから検出した顔の画像の輝度分布や色ヒストグラム等の特徴量と、それまでに二次記憶部２２に記憶済みの撮像データから検出した顔の画像の特徴量を比較することによって判断を行なう。この比較は、輝度分布の正規化相関や、色ヒストグラムのヒストグラムインタセクション等を類似度として取得することによって行なうことができる。即ち、特徴量が類似するか否かを判断し、類似すると判断された場合には、それまでに記憶済みの撮像データの中に、当該撮像データの不特定人物と一致する不特定人物の撮像データが存在すると判定する。

【００８０】

また、本実施例においてはＣＣＤビデオカメラで撮像した当該撮像データが、管理装置１に送信されると、管理装置１の制御部１４でそれまでに記憶済みの各撮像データと比較、照合する構成としているが、管理装置１で、当該撮像データと記憶済みの各撮像データと比較、照合せずに、当該撮像データを総合管理装置７に送信し、記憶済みの各撮像データとの比較、照合は、総合管理装置７で行う構成としてもよい。この場合、総合管理装置７は、ネットワークで接続されている複数の遊技場からの同一の不特定人物の撮像データの送信回数が、所定の回数になった場合には、当該不特定人物の撮像データを複数の遊技場の管理装置１に送信する。このような構成にすれば、１つの遊技場で同一の不特定人物が複数回撮像されることが必要とされないため、各遊技場のいわゆるゴト行為といった不正行為の被害を小さくすることができる。

【００８１】

このように本実施例では、不特定人物の撮像データを記憶するための一次記憶手段と、異常信号を受信した場合に、一次記憶手段に記憶された不特定人物の撮像データから所定時間分の撮像データを取得する手段と、取得した所定時間分の撮像データを記憶するための二次記憶手段と、不特定人物の撮像データを記憶するための不特定人物撮像データ記憶手段と、二次記憶手段に記憶した当該不特定人物の撮像データと、それまでに二次記憶手段に記憶した不特定人物の撮像データとを照合し、当該不特定人物と一致する不特定人物の

撮像データが存在するか否かを判定する不特定人物撮像データ判定手段と、前記不特定人物と一致する不特定人物の撮像データが存在する場合に、一致する不特定人物の撮像データに関連付けて、今回一致した分を含む累積一致回数を記憶する一致回数記憶手段と、前記不特定人物と一致する不特定人物の撮像データが存在しない場合に、前記不特定人物の撮像データを前記不特定人物撮像データ記憶手段に新たに記憶する不特定人物撮像データ更新手段と、前記累積一致回数が所定回数となった場合に、前記不特定人物撮像データを管理センターに送信する手段を各遊技場で備える構成とし、遊技場から送信された当該不特定人物撮像データを、当該不特定人物の撮像データを送信した遊技場以外の他の遊技場に対して、配信する不特定人物撮像データ配信手段を、管理センターで備える構成としている。しかし、この構成に限らず、上記各手段を各遊技場と管理センターに分散して、あるいは複数の遊技場に分散して設け、それぞれをネットワークで接続する構成としてもよく、その組み合わせは自在である。

【００８２】

以上、本発明の好ましい実施例について述べたが、本発明の遊技場管理システムは上述した実施形態にのみ限定されるものではなく、本発明の範囲で種々の変更実施が可能であるのは言うまでもない。

【図面の簡単な説明】

【００８３】

【図１】本発明の実施例１の主な構成を概念的に示す概略構成図である。

【図２】本発明の実施例１の各遊技場と管理センターの構成を概念的に示すブロック図である。

【図３】本発明の実施例１の管理装置の構成を概念的に示すブロック図である。

【図４】本発明の実施例１の動作を時系列的に示す流れ図である。

【図５】本発明の実施例１の他の構成を概念的に示すブロック図である。

【図６】本発明の実施例２の動作を時系列的に示す流れ図である。

【図７】本発明の実施例３の管理装置の構成を概念的に示すブロック図である。

【図８】本発明の実施例３の動作を時系列的に示す流れ図である。

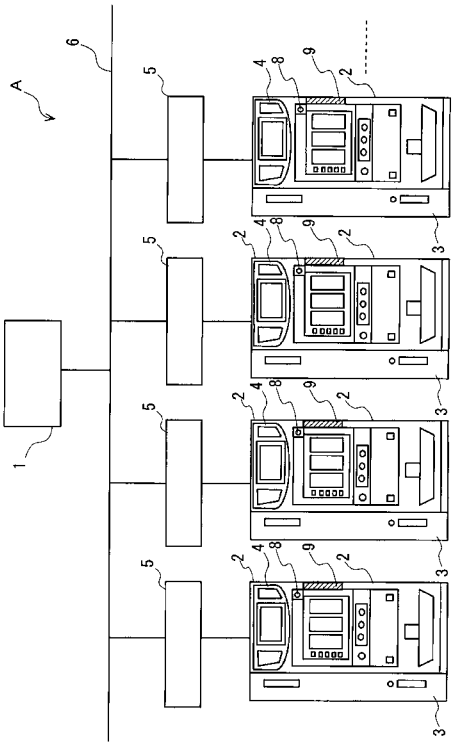
【図９】本発明の実施例４の動作を時系列的に示す流れ図である。

【符号の説明】

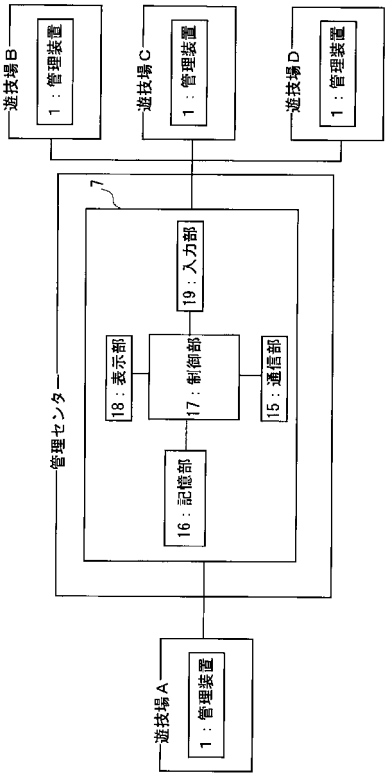
【００８４】

１　管理装置　２　遊技機　３　台間機４　呼出ランプ　５　台コンピュータ　６　通信回線　７　総合管理装置　８　ＣＣＤカメラ　９　フラッシュライト　１０　通信部　１１　記憶部　１２　表示部　１３　入力部１４　制御部　１５　通信部　１６　記憶部　１７　制御部　１８　表示部　１９　入力部　２０　管理装置　２１　一次記憶部　２２　二次記憶部

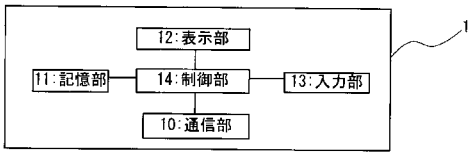
【図１】


A
1
2
3
4
5
6
8
9

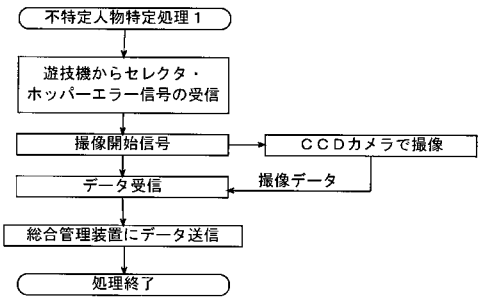
【図２】


遊技場B
1：管理装置
遊技場C
1：管理装置
遊技場D
1：管理装置
7
管理センター
19：入力部
18：表示部
17：制御部
15：通信部
16：記憶部
遊技場A
1：管理装置

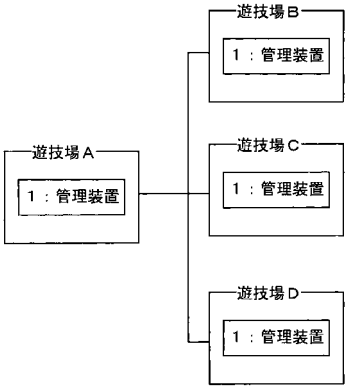
【図３】


1
12:表示部
11:記憶部
14:制御部
13:入力部
10:通信部

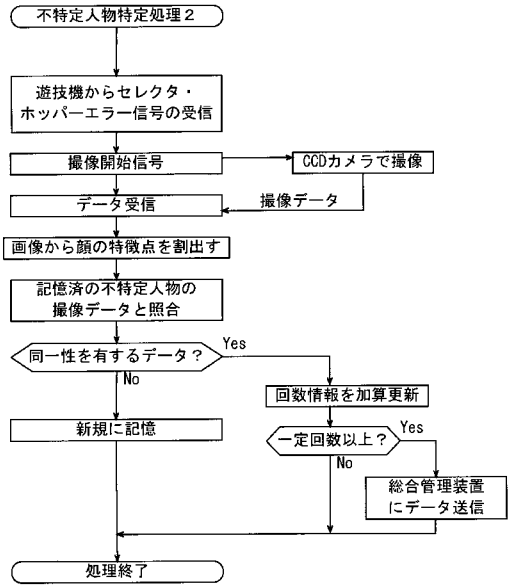
【図４】


不特定人物特定処理１
遊技機からセレクタ・
ホッパーエラー信号の受信
撮像開始信号
ＣＣＤカメラで撮像
データ受信
撮像データ
総合管理装置にデータ送信
処理終了

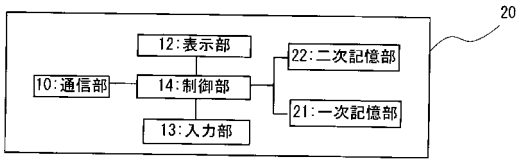
【図５】


遊技場A
1：管理装置
遊技場B
1：管理装置
遊技場C
1：管理装置
遊技場D
1：管理装置

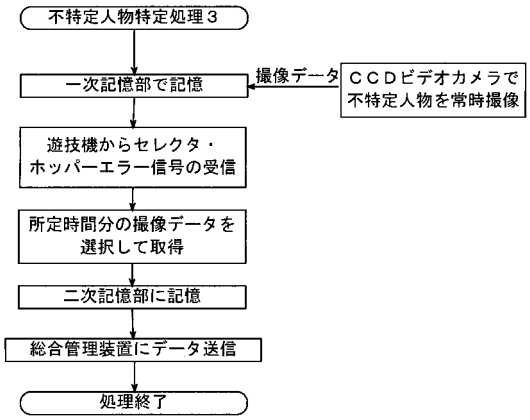
【図６】


不特定人物特定処理２
遊技機からセレクタ・
ホッパーエラー信号の受信
撮像開始信号
CCDカメラで撮像
データ受信
撮像データ
画像から顔の特徴点を割出す
記憶済の不特定人物の
撮像データと照合
同一性を有するデータ？
Yes
No
回数情報を加算更新
新規に記憶
一定回数以上？
Yes
No
総合管理装置
にデータ送信
処理終了

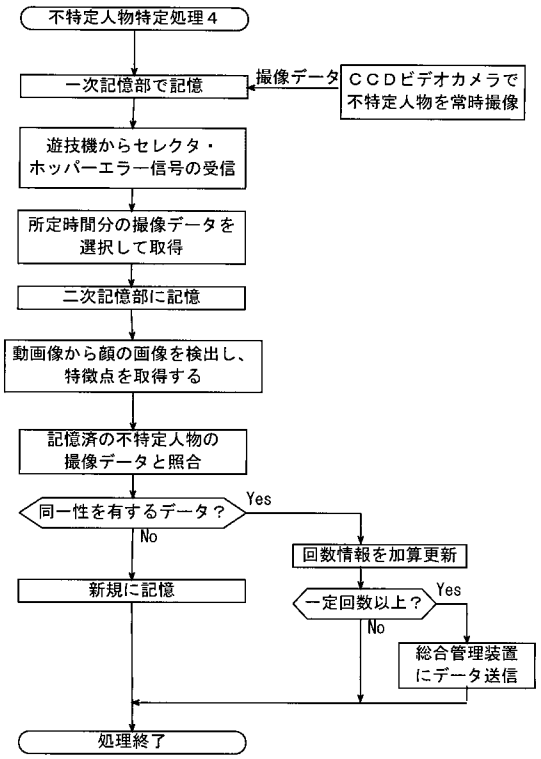
【図７】


20
12:表示部
22:二次記憶部
10:通信部
14:制御部
21:一次記憶部
13:入力部

【図８】


不特定人物特定処理３
一次記憶部で記憶
撮像データ
ＣＣＤビデオカメラで
不特定人物を常時撮像
遊技機からセレクタ・
ホッパーエラー信号の受信
所定時間分の撮像データを
選択して取得
二次記憶部に記憶
総合管理装置にデータ送信
処理終了

【図９】


不特定人物特定処理４
一次記憶部で記憶
撮像データ
ＣＣＤビデオカメラで
不特定人物を常時撮像
遊技機からセレクタ・
ホッパーエラー信号の受信
所定時間分の撮像データを
選択して取得
二次記憶部に記憶
動画像から顔の画像を検出し、
特徴点を取得する
記憶済の不特定人物の
撮像データと照合
同一性を有するデータ？
Yes
No
回数情報を加算更新
新規に記憶
一定回数以上？
Yes
No
総合管理装置
にデータ送信
処理終了

【手続補正書】
【提出日】平成19年9月19日(2007.9.19)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
不特定人物の撮像データを他の遊技場に配信して共有するための遊技場管理システムであって、
少なくとも１つの遊技場には、
作動中の異常を検出し当該異常信号を送信する送信手段を備える複数の遊技機と、当該複数の遊技機に対応して配置し、前記異常信号を送信した遊技機の周囲の不特定人物を撮像して、当該不特定人物の撮像データを送信する少なくとも１つの撮像手段とを設け、
前記少なくとも１つの遊技場を含む複数の遊技場のいずれか、又は複数の前記遊技場を統轄する管理センターには、
前記撮像手段から受信した当該不特定人物の撮像データを、当該不特定人物の撮像データを送信した遊技場以外の他の遊技場に、配信する不特定人物撮像データ配信手段を、設けたことを特徴とする、遊技場管理システム。
【請求項２】
不特定人物の撮像データを他の遊技場に配信して共有するための遊技場管理システムであって、
少なくとも1つの遊技場には、
作動中の異常を検出し当該異常信号を送信する送信手段を備える複数の遊技機と、当該複数の遊技機に対応して配置し、撮像の開始を指示する撮像開始信号を受信すると、前記異常信号を送信した遊技機の周囲の不特定人物を撮像して、当該不特定人物の撮像データを送信する少なくとも1つの撮像手段とを設け、
前記少なくとも１つの遊技場を含む複数の遊技場のいずれか、又は複数の前記遊技場を統轄する管理センターには、
前記少なくとも１つの遊技場の前記異常信号を受信すると、当該異常信号を送信した前記遊技機に対応する前記撮像手段に対して前記撮像開始信号を送信する撮像開始信号送信手段と、
前記撮像手段から受信した前記不特定人物の撮像データを、当該不特定人物の撮像データを送信した遊技場以外の他の遊技場に、配信する不特定人物撮像データ配信手段とを、設けたことを特徴とする、遊技場管理システム。
【請求項３】
不特定人物の撮像データを他の遊技場に配信して共有するための遊技場管理システムであって、
少なくとも1つの遊技場には、
作動中の異常を検出し当該異常信号を送信する送信手段を備える複数の遊技機と、当該複数の遊技機に対応して配置し、撮像の開始を指示する撮像開始信号を受信すると、前記異常信号を送信した遊技機の周囲の不特定人物を撮像して、当該不特定人物の撮像データを送信する少なくとも1つの撮像手段とを設け、
前記少なくとも1つの遊技場を含む複数の遊技場、又は複数の前記遊技場のいずれかとこれら複数の前記遊技場を統轄する管理センターに、
前記少なくとも1つの遊技場の前記異常信号を受信すると、当該異常信号を送信した前記遊技機に対応する前記撮像手段に対して前記撮像開始信号を送信する撮像開始信号送信手段と、
前記撮像手段から受信した前記不特定人物の撮像データを、当該不特定人物の撮像デー

タを送信した遊技場以外の他の遊技場に、配信する不特定人物撮像データ配信手段とを、分散させて設けたことを特徴とする、遊技場管理システム。

【請求項４】

不特定人物の撮像データを他の遊技場に配信して共有するための遊技場管理システムであって、

少なくとも1つの遊技場には、

作動中の異常を検出し当該異常信号を送信する送信手段を備える複数の遊技機と、当該複数の遊技機に対応して配置し、撮像の開始を指示する撮像開始信号を受信すると、前記異常信号を送信した遊技機の周囲の不特定人物を撮像して、当該不特定人物の撮像データを送信する少なくとも1つの撮像手段とを設け、

前記少なくとも1つの遊技場を含む複数の遊技場のいずれか、又はこれら複数の前記遊技場を統轄する管理センターには、

前記少なくとも1つの遊技場の前記異常信号を受信すると、当該異常信号を送信した前記遊技機に対応する前記撮像手段に対して前記撮像開始信号を送信する撮像開始信号送信手段と、

前記撮像手段から送信された前記不特定人物の撮像データを記憶するための不特定人物撮像データ記憶手段と、

前記撮像手段から送信された前記不特定人物の撮像データを、それまでに前記不特定人物撮像データ記憶手段に記憶した不特定人物の撮像データと照合し、前記不特定人物と一致する不特定人物の撮像データが存在するか否かを判定する不特定人物撮像データ判定手段と、

前記不特定人物と一致する不特定人物の撮像データが存在する場合に、当該一致する不特定人物の撮像データに関連付けて、今回一致した分を含む累積一致回数を記憶する一致回数記憶手段と、

前記不特定人物と一致する不特定人物の撮像データが存在しない場合に、前記撮像手段から送信された前記不特定人物の撮像データを前記不特定人物撮像データ記憶手段に新たに記憶する不特定人物撮像データ更新手段と、

前記累積一致回数が所定回数となった時に、前記不特定人物の撮像データを送信した遊技場以外の他の遊技場に、当該不特定人物の撮像データを配信する不特定人物撮像データ配信手段とを、

設けたことを特徴とする、遊技場管理システム。

【請求項５】

不特定人物の撮像データを他の遊技場に配信して共有するための遊技場管理システムであって、

少なくとも1つの遊技場には、

作動中の異常を検出し当該異常信号を送信する送信手段を備える複数の遊技機と、当該複数の遊技機に対応して配置し、撮像の開始を指示する撮像開始信号を受信すると、前記異常信号を送信した遊技機の周囲の不特定人物を撮像して、当該不特定人物の撮像データを送信する少なくとも1つの撮像手段とを設け、

前記少なくとも1つの遊技場を含む複数の遊技場、又は複数の前記遊技場のいずれかとこれら複数の前記遊技場を統轄する管理センターに、

前記少なくとも1つの遊技場の前記異常信号を受信すると、当該異常信号を送信した前記遊技機に対応する前記撮像手段に対して前記撮像開始信号を送信する撮像開始信号送信手段と、

前記撮像手段から送信された前記不特定人物の撮像データを記憶するための不特定人物撮像データ記憶手段と、

前記撮像手段から送信された前記不特定人物の撮像データを、それまでに前記不特定人物撮像データ記憶手段に記憶した不特定人物の撮像データと照合し、前記不特定人物と一致する不特定人物の撮像データが存在するか否かを判定する不特定人物撮像データ判定手段と、

前記不特定人物と一致する不特定人物の撮像データが存在する場合に、当該一致する不特定人物の撮像データに関連付けて、今回一致した分を含む累積一致回数を記憶する一致回数記憶手段と、
前記不特定人物と一致する不特定人物の撮像データが存在しない場合に、前記撮像手段から送信された前記不特定人物の撮像データを前記不特定人物撮像データ記憶手段に新たに記憶する不特定人物撮像データ更新手段と、
前記累積一致回数が所定回数となった時に、前記不特定人物の撮像データを送信した遊技場以外の他の遊技場に対して、当該不特定人物の撮像データを配信する不特定人物撮像データ配信手段とを、
分散させて設けたことを特徴とする、遊技場管理システム。
【請求項６】
不特定人物の撮像データを他の遊技場に配信して共有するための遊技場管理システムであって、
少なくとも１つの遊技場には、
作動中の異常を検出し当該異常信号を送信する送信手段を備える複数の遊技機と、当該複数の遊技機に対応して配置し、前記異常信号を送信した遊技機の周囲の不特定人物を撮像して、当該不特定人物の撮像データを送信する少なくとも１つの撮像手段を設け、
前記少なくとも１つの遊技場を含む複数の遊技場のいずれか、又はこれら複数の前記遊技場を統轄する管理センターには、
前記撮像手段から前記不特定人物の撮像データを受信して記憶する一次記憶手段と、
前記異常信号を受信すると、前記一次記憶手段から前記不特定人物の撮像データを取得する取得手段と、
当該取得手段により取得した不特定人物の撮像データを記憶するとともに送信する二次記憶手段と、
前記二次記憶手段から受信した前記不特定人物の撮像データを、当該不特定人物の撮像データを送信した遊技場以外の他の遊技場に、配信する不特定人物撮像データ配信手段とを、
設けたことを特徴とする、遊技場管理システム。
【請求項７】
不特定人物の撮像データを他の遊技場に配信して共有するための遊技場管理システムであって、
少なくとも１つの遊技場には、
作動中の異常を検出し当該異常信号を送信する送信手段を備える複数の遊技機と、当該複数の遊技機に対応して配置し、前記異常信号を送信した遊技機の周囲の不特定人物を撮像して、当該不特定人物の撮像データを送信する少なくとも１つの撮像手段とを設け、
前記少なくとも１つの遊技場を含む複数の遊技場、又は複数の前記遊技場のいずれかとこれら複数の前記遊技場を統轄する管理センターに、
前記撮像手段から前記不特定人物の撮像データを受信して記憶する一次記憶手段と、
前記少なくとも１つの遊技場の前記異常信号を受信すると、前記一次記憶手段から前記不特定人物の撮像データを取得する取得手段と、
当該取得手段により取得した不特定人物の撮像データを記憶するとともに送信する二次記憶手段と、
前記二次記憶手段から受信した前記不特定人物の撮像データを、当該不特定人物の撮像データを送信した遊技場以外の他の遊技場に配信する不特定人物撮像データ配信手段とを、
分散させて設けたことを特徴とする、遊技場管理システム。
【請求項８】
不特定人物の撮像データを他の遊技場に配信して共有するための遊技場管理システムであって、
少なくとも１つの遊技場には、

作動中の異常を検出し当該異常信号を送信する送信手段を備える複数の遊技機と、当該複数の遊技機に対応して配置し、前記異常信号を送信した遊技機の周囲の不特定人物を撮像して、当該不特定人物の撮像データを送信する少なくとも１つの撮像手段とを設け、
前記少なくとも１つの遊技場を含む複数の遊技場のいずれか、又はこれら複数の前記遊技場を統轄する管理センターには、
前記撮像手段から前記不特定人物の撮像データを受信して記憶する一次記憶手段と、
前記少なくとも１つの遊技場の前記異常信号を受信すると、前記一次記憶手段から前記不特定人物の撮像データを取得する取得手段と、
当該取得手段により取得した不特定人物の撮像データを記憶するとともに送信する二次記憶手段と、
前記不特定人物の撮像データを記憶するための不特定人物撮像データ記憶手段と、
前記不特定人物の撮像データを前記二次記憶手段から受信し、当該不特定人物の撮像データから顔部分を検出し、検出した顔部分の撮像データとそれまでに前記不特定人物撮像データ記憶手段に記憶した不特定人物の撮像データとを照合し、前記不特定人物と一致する不特定人物の撮像データが存在するか否かを判定する不特定人物撮像データ判定手段と、
前記不特定人物と一致する不特定人物の撮像データが存在する場合に、当該一致する不特定人物の撮像データに関連付けて、今回一致した分を含む累積一致回数を記憶する一致回数記憶手段と、
前記不特定人物と一致する不特定人物の撮像データが存在しない場合に、前記二次記憶手段から送信された前記不特定人物の撮像データを前記不特定人物撮像データ記憶手段に新たに記憶する不特定人物撮像データ更新手段と、
前記累積一致回数が所定回数となった場合に、前記不特定人物の撮像データを送信した遊技場以外の他の遊技場に、当該不特定人物の撮像データを配信する不特定人物撮像データ配信手段とを、
設けたことを特徴とする、遊技場管理システム。
【請求項９】
不特定人物の撮像データを他の遊技場に配信して共有するための遊技場管理システムであって、
少なくとも１つの遊技場には、
作動中の異常を検出し当該異常信号を送信する送信手段を備える複数の遊技機と、当該複数の遊技機に対応して配置し、前記異常信号を送信した遊技機の周囲の不特定人物を撮像して、当該不特定人物の撮像データを送信する少なくとも１つの撮像手段とを設け、
少なくとも１つの遊技場を含む複数の遊技場、又は複数の前記遊技場のいずれかとこれら複数の前記遊技場を統轄する管理センターに、
前記撮像手段から前記不特定人物の撮像データを受信して記憶する一次記憶手段と、
前記少なくとも1つの遊技場の前記異常信号を受信すると、前記一次記憶手段から前記不特定人物の撮像データを取得する取得手段と、
当該取得手段により取得した不特定人物の撮像データを記憶するとともに送信する二次記憶手段と、
前記不特定人物の撮像データを記憶するための不特定人物撮像データ記憶手段と、
前記不特定人物の撮像データを前記二次記憶手段から受信し、当該不特定人物の撮像データから顔部分を検出し、検出した顔部分の撮像データとそれまでに前記不特定人物撮像データ記憶手段に記憶した不特定人物の撮像データとを照合し、前記不特定人物と一致する不特定人物の撮像データが存在するか否かを判定する不特定人物撮像データ判定手段と、
前記不特定人物と一致する不特定人物の撮像データが存在する場合に、当該一致する不特定人物の撮像データに関連付けて、今回一致した分を含む累積一致回数を記憶する一致回数記憶手段と、
前記不特定人物と一致する不特定人物の撮像データが存在しない場合に、前記二次記憶

手段から送信された前記不特定人物の撮像データを前記不特定人物撮像データ記憶手段に新たに記憶する不特定人物撮像データ更新手段と、
前記累積一致回数が所定回数となった場合に、前記不特定人物の撮像データを送信した遊技場以外の他の遊技場に、当該不特定人物の撮像データを配信する不特定人物撮像データ配信手段とを、
分散させて設けたことを特徴とする、遊技場管理システム。
【請求項１０】
前記取得手段は、前記一次記憶手段に記憶している前記不特定人物の撮像データのうち、所定時間分の前記不特定人物の撮像データを取得することを特徴とする、請求項６～９のいずれかに記載の遊技場管理システム。
【請求項１１】
前記異常信号は、前記遊技機のセレクタ部の異常を示すセレクタエラー信号又は前記遊技機のホッパー部の異常を示すホッパーエラー信号であることを特徴とする、請求項1～１０のいずれかに記載の遊技場管理システム。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
上記課題を解決するため、請求項１の発明は、不特定人物の撮像データを他の遊技場に配信して共有するための遊技場管理システムであって、
少なくとも１つの遊技場には、
作動中の異常を検出し当該異常信号を送信する送信手段を備える複数の遊技機と、当該複数の遊技機に対応して配置し、前記異常信号を送信した遊技機の周囲の不特定人物を撮像して、当該不特定人物の撮像データを送信する少なくとも１つの撮像手段とを設け、
前記少なくとも１つの遊技場を含む複数の遊技場のいずれか、又は複数の前記遊技場を統轄する管理センターには、
前記撮像手段から受信した当該不特定人物の撮像データを、当該不特定人物の撮像データを送信した遊技場以外の他の遊技場に、配信する不特定人物撮像データ配信手段を、
設けた、遊技場管理システムとした。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
また、請求項２の発明は、不特定人物の撮像データを他の遊技場に配信して共有するための遊技場管理システムであって、
少なくとも1つの遊技場には、
作動中の異常を検出し当該異常信号を送信する送信手段を備える複数の遊技機と、当該複数の遊技機に対応して配置し、撮像の開始を指示する撮像開始信号を受信すると、前記異常信号を送信した遊技機の周囲の不特定人物を撮像して、当該不特定人物の撮像データを送信する少なくとも1つの撮像手段とを設け、
前記少なくとも１つの遊技場を含む複数の遊技場のいずれか、又は複数の前記遊技場を統轄する管理センターには、
前記少なくとも１つの遊技場の前記異常信号を受信すると、当該異常信号を送信した前記遊技機に対応する前記撮像手段に対して前記撮像開始信号を送信する撮像開始信号送信手段と、
前記撮像手段から受信した前記不特定人物の撮像データを、当該不特定人物の撮像デー

タを送信した遊技場以外の他の遊技場に、配信する不特定人物撮像データ配信手段とを、設けた、遊技場管理システムとした。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
また、請求項３の発明は、不特定人物の撮像データを他の遊技場に配信して共有するための遊技場管理システムであって、
少なくとも1つの遊技場には、
作動中の異常を検出し当該異常信号を送信する送信手段を備える複数の遊技機と、当該複数の遊技機に対応して配置し、撮像の開始を指示する撮像開始信号を受信すると、前記異常信号を送信した遊技機の周囲の不特定人物を撮像して、当該不特定人物の撮像データを送信する少なくとも1つの撮像手段とを設け、
前記少なくとも1つの遊技場を含む複数の遊技場、又は複数の前記遊技場のいずれかとこれら複数の前記遊技場を統轄する管理センターに、
前記少なくとも1つの遊技場の前記異常信号を受信すると、当該異常信号を送信した前記遊技機に対応する前記撮像手段に対して前記撮像開始信号を送信する撮像開始信号送信手段と、
前記撮像手段から受信した前記不特定人物の撮像データを、当該不特定人物の撮像データを送信した遊技場以外の他の遊技場に、配信する不特定人物撮像データ配信手段とを、分散させて設けた、遊技場管理システムとした。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
また、請求項４の発明は、不特定人物の撮像データを他の遊技場に配信して共有するための遊技場管理システムであって、
少なくとも1つの遊技場には、
作動中の異常を検出し当該異常信号を送信する送信手段を備える複数の遊技機と、当該複数の遊技機に対応して配置し、撮像の開始を指示する撮像開始信号を受信すると、前記異常信号を送信した遊技機の周囲の不特定人物を撮像して、当該不特定人物の撮像データを送信する少なくとも1つの撮像手段とを設け、
前記少なくとも1つの遊技場を含む複数の遊技場のいずれか、又はこれら複数の前記遊技場を統轄する管理センターには、
前記少なくとも1つの遊技場の前記異常信号を受信すると、当該異常信号を送信した前記遊技機に対応する前記撮像手段に対して前記撮像開始信号を送信する撮像開始信号送信手段と、
前記撮像手段から送信された前記不特定人物の撮像データを記憶するための不特定人物撮像データ記憶手段と、
前記撮像手段から送信された前記不特定人物の撮像データを、それまでに前記不特定人物撮像データ記憶手段に記憶した不特定人物の撮像データと照合し、前記不特定人物と一致する不特定人物の撮像データが存在するか否かを判定する不特定人物撮像データ判定手段と、
前記不特定人物と一致する不特定人物の撮像データが存在する場合に、当該一致する不特定人物の撮像データに関連付けて、今回一致した分を含む累積一致回数を記憶する一致回数記憶手段と、

前記不特定人物と一致する不特定人物の撮像データが存在しない場合に、前記撮像手段から送信された前記不特定人物の撮像データを前記不特定人物撮像データ記憶手段に新たに記憶する不特定人物撮像データ更新手段と、
前記累積一致回数が所定回数となった時に、前記不特定人物の撮像データを送信した遊技場以外の他の遊技場に、当該不特定人物の撮像データを配信する不特定人物撮像データ配信手段とを、
設けた、遊技場管理システムとした。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１１】
また、請求項５の発明は、不特定人物の撮像データを他の遊技場に配信して共有するための遊技場管理システムであって、
少なくとも1つの遊技場には、
作動中の異常を検出し当該異常信号を送信する送信手段を備える複数の遊技機と、当該複数の遊技機に対応して配置し、撮像の開始を指示する撮像開始信号を受信すると、前記異常信号を送信した遊技機の周囲の不特定人物を撮像して、当該不特定人物の撮像データを送信する少なくとも1つの撮像手段とを設け、
前記少なくとも1つの遊技場を含む複数の遊技場、又は複数の前記遊技場のいずれかとこれら複数の前記遊技場を統轄する管理センターに、
前記少なくとも1つの遊技場の前記異常信号を受信すると、当該異常信号を送信した前記遊技機に対応する前記撮像手段に対して前記撮像開始信号を送信する撮像開始信号送信手段と、
前記撮像手段から送信された前記不特定人物の撮像データを記憶するための不特定人物撮像データ記憶手段と、
前記撮像手段から送信された前記不特定人物の撮像データを、それまでに前記不特定人物撮像データ記憶手段に記憶した不特定人物の撮像データと照合し、前記不特定人物と一致する不特定人物の撮像データが存在するか否かを判定する不特定人物撮像データ判定手段と、
前記不特定人物と一致する不特定人物の撮像データが存在する場合に、当該一致する不特定人物の撮像データに関連付けて、今回一致した分を含む累積一致回数を記憶する一致回数記憶手段と、
前記不特定人物と一致する不特定人物の撮像データが存在しない場合に、前記撮像手段から送信された前記不特定人物の撮像データを前記不特定人物撮像データ記憶手段に新たに記憶する不特定人物撮像データ更新手段と、
前記累積一致回数が所定回数となった時に、前記不特定人物の撮像データを送信した遊技場以外の他の遊技場に対して、当該不特定人物の撮像データを配信する不特定人物撮像データ配信手段とを、
分散させて設けた、遊技場管理システムとした。
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１２】
また請求項６の発明は、不特定人物の撮像データを他の遊技場に配信して共有するための遊技場管理システムであって、
少なくとも１つの遊技場には、

作動中の異常を検出し当該異常信号を送信する送信手段を備える複数の遊技機と、当該複数の遊技機に対応して配置し、前記異常信号を送信した遊技機の周囲の不特定人物を撮像して、当該不特定人物の撮像データを送信する少なくとも１つの撮像手段を設け、
前記少なくとも１つの遊技場を含む複数の遊技場のいずれか、又はこれら複数の前記遊技場を統轄する管理センターには、
前記撮像手段から前記不特定人物の撮像データを受信して記憶する一次記憶手段と、
前記異常信号を受信すると、前記一次記憶手段から前記不特定人物の撮像データを取得する取得手段と、
当該取得手段により取得した不特定人物の撮像データを記憶するとともに送信する二次記憶手段と、
前記二次記憶手段から受信した前記不特定人物の撮像データを、当該不特定人物の撮像データを送信した遊技場以外の他の遊技場に、配信する不特定人物撮像データ配信手段とを、
設けたことを特徴とする、遊技場管理システムとした。
【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１３】
また請求項７の発明は、不特定人物の撮像データを他の遊技場に配信して共有するための遊技場管理システムであって、
少なくとも１つの遊技場には、
作動中の異常を検出し当該異常信号を送信する送信手段を備える複数の遊技機と、当該複数の遊技機に対応して配置し、前記異常信号を送信した遊技機の周囲の不特定人物を撮像して、当該不特定人物の撮像データを送信する少なくとも１つの撮像手段とを設け、
前記少なくとも１つの遊技場を含む複数の遊技場、又は複数の前記遊技場のいずれかとこれら複数の前記遊技場を統轄する管理センターに、
前記撮像手段から前記不特定人物の撮像データを受信して記憶する一次記憶手段と、
前記少なくとも１つの遊技場の前記異常信号を受信すると、前記一次記憶手段から前記不特定人物の撮像データを取得する取得手段と、
当該取得手段により取得した不特定人物の撮像データを記憶するとともに送信する二次記憶手段と、
前記二次記憶手段から受信した前記不特定人物の撮像データを、当該不特定人物の撮像データを送信した遊技場以外の他の遊技場に配信する不特定人物撮像データ配信手段とを、
分散させて設けた、遊技場管理システムとした。
【手続補正９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１４】
また請求項８の発明は、不特定人物の撮像データを他の遊技場に配信して共有するための遊技場管理システムであって、
少なくとも１つの遊技場には、
作動中の異常を検出し当該異常信号を送信する送信手段を備える複数の遊技機と、当該複数の遊技機に対応して配置し、前記異常信号を送信した遊技機の周囲の不特定人物を撮像して、当該不特定人物の撮像データを送信する少なくとも１つの撮像手段とを設け、
前記少なくとも１つの遊技場を含む複数の遊技場のいずれか、又はこれら複数の前記遊

技場を統轄する管理センターには、
前記撮像手段から前記不特定人物の撮像データを受信して記憶する一次記憶手段と、
前記少なくとも１つの遊技場の前記異常信号を受信すると、前記一次記憶手段から前記不特定人物の撮像データを取得する取得手段と、
当該取得手段により取得した不特定人物の撮像データを記憶するとともに送信する二次記憶手段と、
前記不特定人物の撮像データを記憶するための不特定人物撮像データ記憶手段と、
前記不特定人物の撮像データを前記二次記憶手段から受信し、当該不特定人物の撮像データから顔部分を検出し、検出した顔部分の撮像データとそれまでに前記不特定人物撮像データ記憶手段に記憶した不特定人物の撮像データとを照合し、前記不特定人物と一致する不特定人物の撮像データが存在するか否かを判定する不特定人物撮像データ判定手段と、
前記不特定人物と一致する不特定人物の撮像データが存在する場合に、当該一致する不特定人物の撮像データに関連付けて、今回一致した分を含む累積一致回数を記憶する一致回数記憶手段と、
前記不特定人物と一致する不特定人物の撮像データが存在しない場合に、前記二次記憶手段から送信された前記不特定人物の撮像データを前記不特定人物撮像データ記憶手段に新たに記憶する不特定人物撮像データ更新手段と、
前記累積一致回数が所定回数となった場合に、前記不特定人物の撮像データを送信した遊技場以外の他の遊技場に、当該不特定人物の撮像データを配信する不特定人物撮像データ配信手段とを、
設けた、遊技場管理システムとした。
【手続補正１０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１５】
また請求項９の発明は、不特定人物の撮像データを他の遊技場に配信して共有するための遊技場管理システムであって、
少なくとも１つの遊技場には、
作動中の異常を検出し当該異常信号を送信する送信手段を備える複数の遊技機と、当該複数の遊技機に対応して配置し、前記異常信号を送信した遊技機の周囲の不特定人物を撮像して、当該不特定人物の撮像データを送信する少なくとも１つの撮像手段とを設け、
少なくとも１つの遊技場を含む複数の遊技場、又は複数の前記遊技場のいずれかとこれら複数の前記遊技場を統轄する管理センターに、
前記撮像手段から前記不特定人物の撮像データを受信して記憶する一次記憶手段と、
前記少なくとも1つの遊技場の前記異常信号を受信すると、前記一次記憶手段から前記不特定人物の撮像データを取得する取得手段と、
当該取得手段により取得した不特定人物の撮像データを記憶するとともに送信する二次記憶手段と、
前記不特定人物の撮像データを記憶するための不特定人物撮像データ記憶手段と、
前記不特定人物の撮像データを前記二次記憶手段から受信し、当該不特定人物の撮像データから顔部分を検出し、検出した顔部分の撮像データとそれまでに前記不特定人物撮像データ記憶手段に記憶した不特定人物の撮像データとを照合し、前記不特定人物と一致する不特定人物の撮像データが存在するか否かを判定する不特定人物撮像データ判定手段と、
前記不特定人物と一致する不特定人物の撮像データが存在する場合に、当該一致する不特定人物の撮像データに関連付けて、今回一致した分を含む累積一致回数を記憶する一致回数記憶手段と、

前記不特定人物と一致する不特定人物の撮像データが存在しない場合に、前記二次記憶手段から送信された前記不特定人物の撮像データを前記不特定人物撮像データ記憶手段に新たに記憶する不特定人物撮像データ更新手段と、
前記累積一致回数が所定回数となった場合に、前記不特定人物の撮像データを送信した遊技場以外の他の遊技場に、当該不特定人物の撮像データを配信する不特定人物撮像データ配信手段とを、
分散させて設けた、遊技場管理システムとした。
【手続補正１１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２０】
また、特に請求項６～１１の発明によれば、撮像手段で常時撮像を行い、当該撮像データを一次記憶手段に記憶し、取得手段で撮像データの一部分を任意に選択して取得し、撮像データの一部分を二次記憶手段に記憶し、ネットワークで接続された他の遊技場に配信する。この場合の撮像データは静止画像のデータではなく、動画像のデータである。従って、不正行為者の顔だけでなく、不正行為者のおこなった不正行為の一連の動作も撮像することができる。そのため当該不正行為者の不正行為の手口も特定することができる。
【手続補正１２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２２】
不特定人物の撮像データを他の遊技場に配信して共有するための遊技場管理システムであって、少なくとも１つの遊技場には、
作動中の異常を検出し当該異常信号を送信する送信手段を備える複数の遊技機と、当該複数の遊技機に対応して配置し、前記異常信号を送信した遊技機の周囲の不特定人物を撮像して、当該不特定人物の撮像データを送信する少なくとも１つの撮像手段とを設け、
少なくとも１つの遊技場を含む複数の遊技場のいずれか、又はこれら複数の前記遊技場を統轄する管理センターには、
前記撮像手段から受信した前記不特定人物の撮像データを、当該不特定人物の撮像データを送信した遊技場以外の他の遊技場に、配信する不特定人物撮像データ配信手段を、設けたことにより、１つの遊技場で不正行為を行った者のデータが、ネットワークで接続された複数の遊技場で共有可能となり、他の遊技場で対策を講じやすく、遊技場の被る被害を最小限に抑制できる。
【手続補正１３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２３】
以下、本発明の実施例１を図１及び図２に基づいて説明する。図１は、本実施例の各遊技場内での遊技場管理システムの構成を回胴式遊技機の場合で示した概略構成図であり、図２は複数の遊技場の管理装置１と管理センターの総合管理装置７との構成を示すブロック図である。図１に示すように遊技場管理システムAは、遊技機２、この遊技機２の周辺に配置した台間機３、呼出ランプ４、及び台コンピュータ５が一組として設けられ、これらは通信回線６によって接続され、この様な一組の装置を遊技場内に多数配置し、上記各組の台コンピュータ５は島コンピュータ(図示省略)等を介して、又は直接管理装置１に接

続されている。遊技機２の右端には撮像手段としてＣＣＤ（Charge Coupled Device）カメラ８とフラッシュランプ９が前方に向けて設けられている。また遊技場Aの管理装置１は、図２に示すようにネットワークを通じて、各遊技場を統轄する役割を有する管理センター等に設けられた総合管理装置７に接続されており、総合管理装置７は遊技場B、遊技場C、遊技場Dといった他の遊技場の管理装置１に接続されている。

フロントページの続き

Ｆターム(参考) 2C082 CA02 CA22 CA23 CA29 DB01 EA04 EA14 EB20